



FS-1370DN

使用説明書 応用編



はじめに

商標について

- プリスクライプ、PRESCRIBE、エコシスおよびECOSYSは、京セラ株式会社の登録商標です。KPDLは京セラ株式会社の商標です。
- 3Mは、3M社の商標です。
- Power PCはIBM社の米国、その他の国における商標です。
- コンパクトフラッシュはサンディスク社の登録商標です。
- PCLは米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
- NetWareは、Novell社の登録商標です。
- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windows Server、Windows XPおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- Macintosh、Bonjour、TrueTypeは、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptはAdobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Ethernetは、ゼロックス社の登録商標です。
- 本製品はウインドリバーシステムズ社のリアルタイムOS統合環境Workbenchを用いて開発されました。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本書の構成について

本書は次の章で構成されています。

用紙について

本機で使用できる用紙について説明しています。

操作パネル

本機の操作パネルを使った操作について説明しています。

オプション

プリンタに装着できるさまざまなオプションについて説明します。

フォント

本機の内蔵フォント一覧です。

付属マニュアルの紹介

本機には、次のマニュアルがあります。必要に応じてご参照ください。

使用説明書

本機の用紙の補給方法、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

インストールガイド

本機の設置手順を説明しています。

日常のお手入れ

トナーコンテナの交換、お手入れ、印刷中に表示されるエラーメッセージと紙づまりへの対処のしかたなどを説明しています。

使用説明書 応用編（本書、CD-ROM 収録）

プリンタ機能の詳細、各種の初期設定について説明しています。

プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル（CD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライブコマンドを使用して、印刷を行うためのプログラミング方法や、各コマンドについて説明しています。

プリスクライブコマンド・テクニカルリファレンス（CD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライブコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに体系的に説明しています。

プリンタドライバ操作手順書（CD-ROM 収録）

KX プリンタドライバの操作方法について説明しています。

KM-NET for Direct Printing 操作手順書（CD-ROM 収録）

Adobe Acrobat/Adobe Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷する方法について説明しています。

京セラ COMMAND CENTER 操作手順書（CD-ROM 収録）

Web ブラウザを介して、PC 上からプリンタの状態を確認したり、設定を変更したりする方法について説明しています。

本書の読みかた

本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
[太字]	操作パネル上のキーとインジケーターを示します。	[メニュー] キーを押してください。
「太字」	メッセージディスプレイに表示されるメッセージを示します。	「プリントデキマス」が表示されます。
太字	製品の名称、ソフトウェアの操作画面上に表示するボタンなどの名称を示します。	<ul style="list-style-type: none">・プリンタドライバ操作手順書を参照してください。・OK をクリックしてください。
参考	補足説明や操作の参考となる情報です。	<p>参考：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。</p>
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。	<p>重要：ドラム部分に手を触れないでください。印刷品質が低下します。</p>

目次

はじめに	i
付属マニュアルの紹介	ii
本書の読みかた	iii
1 用紙について	1-1
用紙の基本仕様	1-2
使用できる用紙	1-2
用紙の基本仕様	1-2
用紙の最大サイズと最小サイズ	1-3
適正な用紙の選択	1-4
ガイドライン	1-4
用紙の特性	1-5
その他の仕様	1-6
特殊な用紙	1-8
特殊な用紙の選択	1-8
用紙の種類	1-12
2 操作パネル	2-1
メッセージディスプレイ	2-2
メッセージディスプレイ内のその他の表示	2-3
キー	2-4
操作パネルの使いかた	2-6
メニュー選択の基本操作	2-6
モード選択メニューの設定方法	2-8
「レポート印刷」(レポート印刷の選択)	2-9
「メニュー マップの印刷」(メニュー マップの印刷)	2-9
「ステータスページの印刷」(ステータスページの印刷)	2-11
「フォントサンプル の印刷」(フォントサンプルの印刷)	2-13
「RAM ディスク ファイル リストの印刷」(RAM ディスク ファイル リストの印刷)	
2-14	
「メモリカード ファイル リスト の印刷」(メモリカード ファイル リストの印刷) ...	
2-14	
「USB メモリ」(USB メモリの選択)	2-15
「ファイルの印刷」(USB メモリのファイルの印刷)	2-15
「部数」(ファイル印刷のコピー枚数の設定)	2-16
「給紙元」(ファイル印刷の給紙元の選択)	2-16
「デバイスの取り外し」(USB メモリの取り外し)	2-17
「ファイルリストの印刷」(ファイルリストの印刷)	2-17
「カウンタ」(カウンタ値の選択)	2-18
「用紙の設定」(用紙の設定)	2-19
「手差しトレイ用紙サイズ」(手差しトレイの用紙サイズの設定)	2-20
「手差しトレイ用紙種類」(手差しトレイの用紙種類の設定)	2-21
「カセット(1 ~ 3)用紙サイズ」(給紙カセットの用紙サイズの設定)	2-22
「カセット(1 ~ 3)用紙種類」(給紙カセットの用紙種類の設定)	2-24
「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定)	2-25
「種類の属性のリセット」(カスタム設定のリセット)	2-28

「印刷設定」(印刷の設定)	2-29
「給紙元」(給紙元の選択)	2-29
「給紙指定動作」(給紙元の設定)	2-30
「両面印刷」(両面印刷モードの設定)	2-30
「A4/LT 共通」(A4/Letter 用紙の共通給紙設定)	2-32
「エミュレーション」(エミュレーションモードの選択)	2-32
「フォントの選択」(初期フォントの設定)	2-34
「コードセット」(コードセットの設定)	2-36
「印刷品質」(印刷品質の設定)	2-37
「印刷環境」(印刷環境の設定)	2-39
「ネットワーク」(ネットワークの設定)	2-43
「TCP/IP」(TCP/IP (IPv4) の設定)	2-43
「TCP/IP (IPv6)」(TCP/IP (IPv6) の設定)	2-47
「デバイス全般」(デバイス全般の選択・設定)	2-50
「表示言語」(表示言語の選択)	2-50
「ブザー」(ブザーの設定)	2-51
「RAM ディスクモード」(RAM ディスクの操作)	2-53
「メモリカード」(CF カードの操作)	2-54
「エラー処理」(エラー検知の設定)	2-55
「時間」(時間の設定)	2-56
「セキュリティ」(セキュリティ機能の設定)	2-61
「ID」(管理者 ID の入力)	2-61
「パスワード」(管理者パスワードの入力)	2-61
「インターフェースブロック」(インターフェース (外部機器) ブロックの設定) ..	2-62
「NetWare」(NetWare の設定)	2-63
「AppleTalk」(AppleTalk の設定)	2-64
「IPP」(IPP の設定)	2-65
「SSL サーバ」(SSL サーバの設定)	2-65
「IPSec」(IPSec の設定)	2-68
「セキュリティ レベル」(セキュリティレベルの設定)	2-69
「管理者」(管理者の設定)	2-70
「ID」(管理者 ID の入力)	2-70
「パスワード」(管理者パスワードの入力)	2-70
「ID の変更」(管理者 ID の変更)	2-71
「パスワードの変更」(管理者パスワードの変更)	2-71
「調整 / メンテナンス」(調整 / メンテナンスの選択・設定)	2-73
「プリンタの再起動」(プリンタの再起動)	2-73
「サービス」(保守・点検用)	2-73
3 オプション	3-1
オプションについて	3-2
拡張メモリ	3-3
メモリの取り付け	3-4
拡張メモリの取り外し	3-5
拡張メモリの確認	3-5
ペーパーフィーダ (PF-100)	3-6
CF カード (メモリカード)	3-7

その他のオプション	3-9
USB メモリ	3-9
4 フォント	4-1
内蔵フォント一覧	4-2
付録	付録 -1
インターフェース	付録 -2
USB インタフェース	付録 -2
ネットワークインターフェース	付録 -3
環境設定コマンド	付録 -5
環境設定コマンドの設定	付録 -5
FRPO パラメータ	付録 -5
用語集	用語集 -1
索引	索引 -1

1 用紙について

この章では次の内容について説明します。

- 用紙の基本仕様 ...1-2
- 適正な用紙の選択 ...1-4
- 特殊な用紙 ...1-8

重要 : 本機にインクジェットプリンタ用の用紙を使用しないでください。故障の原因になります。

用紙の基本仕様

本機は、ページプリンタおよび乾式複写機用のコピー用紙（普通紙）に印刷できるよう設計してありますが、本章の制限の範囲内で様々な用紙に印刷できます。

プリンタに適さない用紙を使用すると、紙づまりになったり紙にシワがよったりするので、用紙の選択は慎重に行ってください。

OHP フィルム、ラベル用紙、封筒などの用紙は、手差しトレイから給紙してください。

重要：再生紙は 1-2 ページの用紙の基本仕様のうち、保水度やパルプ含有率などの基本条件が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。このため、再生紙は少量をご購入になってサンプル印刷を行ってください。印刷結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

規格に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

使用できる用紙

通常のページプリンタまたは乾式複写機用のコピー用紙（普通紙）を使用してください。

用紙の品質は、プリンタの印刷品質にも影響を与えます。質の悪い用紙を使うと満足のできる結果が得られません。

用紙の基本仕様

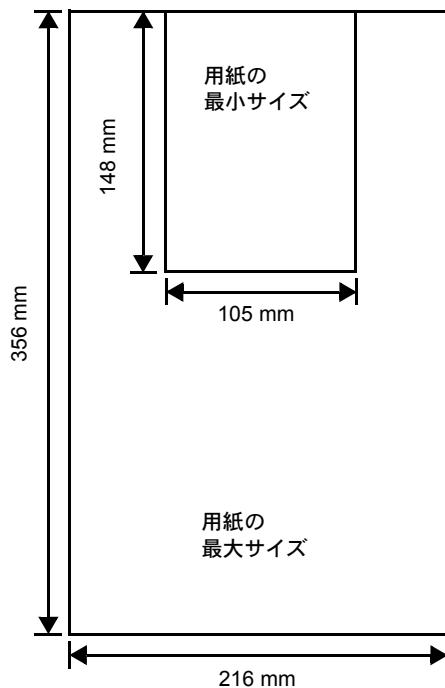
次の表は、本機で使用できる用紙の基本的な仕様です。詳細は以降のページで説明します。

項目	仕様
重さ	給紙カセット : 60 ~ 120 g/m ² 手差しトレイ : 60 ~ 220 g/m ²
厚さ	0.086 ~ 0.110 mm
寸法	1-4 ページの用紙サイズを参照してください。
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90 ±0.2 °
保水度	4 ~ 6 %
纖維の方向	縦目（給紙方向）
パルプ含有率	80 % 以上

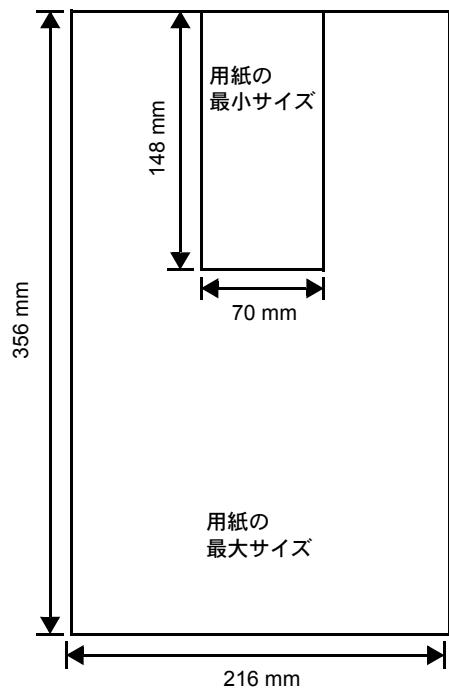
用紙の最大サイズと最小サイズ

用紙の最大サイズと最小サイズは次のとおりです。

給紙カセット



手差しトレイ



参考：オプションのペーパーフィーダ（PF-100）の最小サイズは、148×210 mmです。

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

ガイドライン

紙の状態

角の折れているもの、全体が丸まっているもの、汚れているもの、破れているもの、または纖維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙は避けてください。このような用紙を使用すると仕上がりが悪くなるだけでなく、用紙送りがうまくいかないために紙づまりを起こし、プリンタの寿命を縮めることになります。用紙表面が滑らかで均一なものを選んでください。ただし、コーティング加工や、その他の表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めますので使用を避けてください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や、表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。そのような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、またドラムを傷めます。

普通紙は、少なくとも 80 % 以上のパルプを含むものにしてください。コットンやその他の纖維が用紙成分の 20 % を超えないものをご使用ください。

用紙サイズ

次の表に記載したサイズの用紙が給紙カセットまたは手差しトレイで使用できます。詳細については、2-22 ページの「カセット（1～3）用紙サイズ」（給紙カセットの用紙サイズの設定）を参照してください。

寸法誤差の許容範囲は縦横ともに ±0.7 mm です。用紙四隅の角度は、90 ° ±0.2 ° のものを使用してください。

手差しトレイ	サイズ	給紙カセットまたは 手差しトレイ	サイズ
Envelope Monarch	3-7/8 × 7-1/2 インチ	Legal	8-1/2 × 14 インチ
Envelope #10	4-1/8 × 9-1/2 インチ	Letter	8-1/2 × 11 インチ
Envelope DL	110 × 220 ミリ	ISO A4	210 × 297 ミリ
Envelope #9	3-7/8 × 8-7/8 インチ	ISO A5	148 × 210 ミリ
Envelope #6-3/4	3-5/8 × 6-1/2 インチ	ISO A6	105 × 148 ミリ
JIS B6	128 × 182 ミリ	Envelope C5	162 × 229 ミリ
はがき	100 × 148 ミリ	ISO B5	176 × 250 ミリ
往復はがき	148 × 200 ミリ	JIS B5	182 × 257 ミリ
洋形 2 号	114 × 162 ミリ	Executive	7-1/4 × 10-1/2 インチ
洋形 4 号	105 × 235 ミリ	Oficio II	8-1/2 × 13 インチ
		Folio	210 × 330 ミリ
		Statement	5-1/2 × 8-1/2 インチ
		16K	197 × 273 ミリ
Custom	給紙カセット : 140 × 210 ~ 216 × 356 ミリ ペーパーフィーダ (PF-100) : 148 × 210 ~ 216 × 356 ミリ 手差しトレイ : 70 × 148 ~ 216 × 356 ミリ		

用紙の特性

滑らかさ

用紙表面は滑らかで均一であることが重要ですが、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が送られて、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙1枚を1m²の大きさに換算した時の重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙送りの失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、プリンタの消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定していないと、同時に複数枚の用紙を給紙してしまったり、トナーの定着不良によって印刷がぼやけるなどの印刷品質の問題を引き起こすことがあります。

用紙の適正な重さは給紙カセットで60～120 g/m²、手差しトレイでは60～220 g/m²の範囲です。

厚さ

ページプリンタで使用する用紙は極端に厚いものや、または薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙づまりが頻繁に起きたりする場合は紙が薄すぎることが考えられます。反対に紙が厚すぎる場合も、紙づまりが起こることがあります。適正な用紙の厚さは0.086～0.110 mmの範囲です。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性、定着後のカールなどに影響を与えます。

用紙の保水度は室内の湿度によって変わります。室内の湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

波打ったり乾燥していると、紙送りにずれが起きことがあります。用紙の保水度は4～6%の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低温の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない紙は、もう一度密封してください。
- 用紙は購入時の箱や梱包紙に封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも48時間は正しいレベルの保水度を満たしてからご使用ください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に紙を放置しないでください。

繊維の方向

用紙が製造されるとき、用紙の長さに対して紙の繊維が垂直（縦目）になるようにカットされているものと、用紙の幅に対して繊維が垂直（横目）になるようにカットされているものがあります。横目の用紙はプリンタの給紙時に問題を起こす原因になりますので、用紙は縦目のものをお使いください。

他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる紙は、プリンタ内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

ほとんどの用紙は、開封した状態で放置しておくとどちらかの方向へ自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。これをを利用して、給紙カセットにセットする面を考えてカールを打ち消し合うようにすると、仕上がりがより平らになります。

静電気

トナーを付着させるために、印刷の過程で用紙は静電気を帶びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは使用した用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用したほうがシャープで鮮明な印刷がえられます。

品質について

サイズの不揃い、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそくなつてつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因でプリンタが正しく機能しないことがあります。特にご自分で裁断された用紙を使用する場合はご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている紙をお選びください。梱包紙は内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理

次のような処理をほどこした用紙については、基本仕様を満たす用紙であっても使用しないようお勧めします。使用される場合は、多くの量を購入される前にサンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

特殊な用紙

ここでは、普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機には、次のような特殊な用紙を使用できます。次にしたがって用紙種類を設定してください。

用紙	用紙種類設定
薄い用紙 (60 ~ 64 g/m ²)	薄紙
厚い用紙 (90 ~ 220 g/m ²)	厚紙
OHP フィルム	OHP フィルム
はがき	はがき
封筒	封筒
ラベル用紙	ラベル紙
再生紙	再生紙
カラー紙	カラー紙
プレ印刷用紙	プレプリント
ボンド紙	ボンド紙
レターへッド	レターへッド
パンチ済み用紙	パンチ済み紙
上質紙	上質紙
カスタム	カスタム (1 ~ 8)

以上の用紙を使用するときはコピー用またはページプリンタ用として指定されているものをお使いください。また、特殊な用紙のうち、給紙カセットから給紙できるものもあります。詳細については、2-24 ページの「カセット (1 ~ 3) 用紙種類」(給紙カセットの用紙種類の設定) を参照してください。

特殊な用紙の選択

特殊用紙は次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することが可能ですが、これらの用紙は構造および品質に大きなばらつきがあるために、規定紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙はサンプル用紙をプリンタで印刷してみて、満足のいく仕上がりとなるかを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意について次ページより説明します。印刷中に、湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、機械または操作員に被害が生じても当社は一切の責任を負いかねます。

参考：プリンタドライバで用紙種類にラベル紙や厚紙を指定した場合、本機は自動的に半速モードになります。詳しくは、プリンタドライバ操作手順書を参照してください。

OHP フィルム

OHP フィルムは、印刷中の定着熱に耐えるものである必要があります。次の製品をお勧めします。

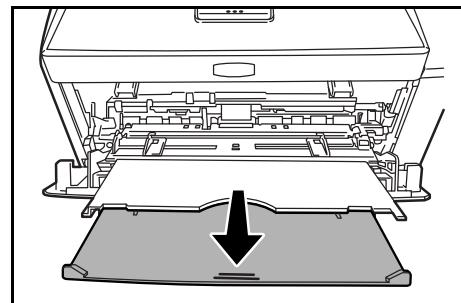
3M PP2500 (Letter、A4)

次の表は、本機で使用できる OHP フィルムの条件です。

項目	仕様
耐熱性	最低 190 °C までの熱に耐えること。
厚さ	0.100 ~ 0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2°

トラブルを避けるために、OHP フィルムは手差しトレイから給紙してください。その際、必ず縦に（用紙の長手方向をプリンタに向けて）セットしてください。

OHP フィルムが頻繁に紙づまりを起こす場合は、排紙される際に OHP フィルムの先を引いてください。



ラベル用紙

ラベル用紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

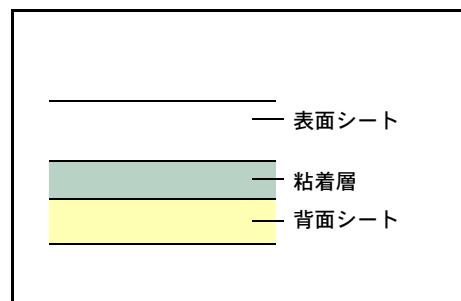
ラベル用紙を選択する際は、糊がプリンタのどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれることなどに注意してください。ドラムやローラ類に糊が付着したり、はがれたラベルがプリンタ内に残ると故障の原因になります。

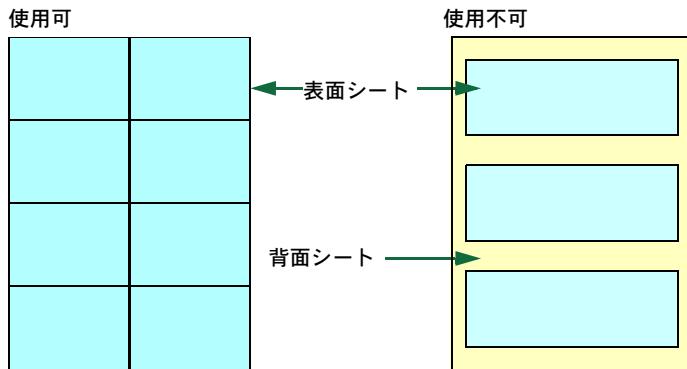
参考：ラベル用紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。

ラベル用紙は、図のような 3 層からなる構造をしています。粘着層はプリンタ内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル用紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル用紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

ラベル用紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、印刷が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。





次の仕様に合ったラベル用紙を選んでください。

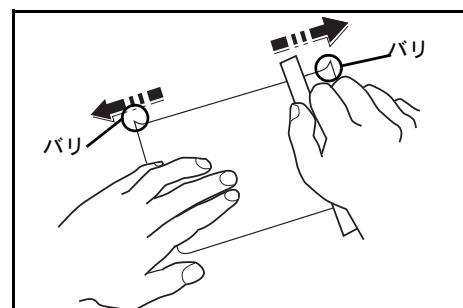
項目	仕様
表面シートの重さ	44 ~ 74 g/m ²
基本重量（用紙全体の重さ）	104 ~ 151 g/m ²
表面シートの厚さ	0.086 ~ 0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115 ~ 0.145 mm
保水度	4 ~ 6 % (混合)

はがき

はがきは、さばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してからセットしてください。反りがあるまま印刷を行うと、紙づまりの原因になります。

往復はがきに印刷する場合は、折り目のないものを使用してください。

また、はがきによっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1~2回こするようにして、バリを取り除いてください。



封筒

封筒は必ず手差しトレイから給紙してください。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、プリンタを通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒での印刷が満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

封筒は長時間放置しておくとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、次の点に留意してください。

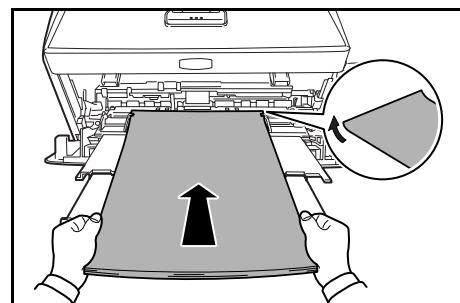
- 糊が露出している封筒はどのような封筒でも使用できません。たとえ露出していないとも、紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式のタイプもご使用になれません。糊をカバーしている小さな台紙が、プリンタ内部ではがれ落ちると大きな故障の原因となります。
- 封筒に特殊加工のあるタイプも使用できません。紐を巻き付ける丸い鳩目の打つあるものや、窓の開いているもの、窓部にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度にセットする封筒の枚数を少なくしてみてください。
- 複数の封筒を印刷する際は、紙づまりを避けるため排紙トレイに 10 枚以上残らないようご注意ください。

厚い用紙

厚い用紙はさばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。用紙によつては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は用紙を平らなところに置き、1-10 ページのはがきと同様に定規のようなもので軽く 1 ~ 2 回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのあるまま印刷を行うと紙づまりの原因になります。

参考：バリを取り除いても給紙されない場合は、図を参考に次のように対応してください。

- 手差しトレイに 1 枚置く
- 給紙するときに用紙に手を添える
- 用紙の先端を数 mm 上にそらせてから手差しトレイにセットする



カラー紙

カラー紙は 1-2 ページの用紙の基本仕様を満たすものでなければなりません。さらに、用紙に含まれている色素は印刷中の熱（最高 200 °C）に耐えるものでなければなりません。

印刷済み用紙（プレプリント）

印刷済み用紙は 1-2 ページの用紙の基本仕様を満たすものでなければなりません。着色に使われているインクはプリンタでの印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる表面加工を施してある紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が 1-2 ページの用紙の基本仕様を満たすものでなければなりません。

参考：再生紙を購入する前に、印刷が満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

用紙の種類

本機は、使用できる用紙の種類を設定して印刷できます。

あらかじめ選択されている用紙だけでなく、カスタム用紙を選択し、重さを定義できます。用紙の種類は、操作パネルから定義できます。使用できる用紙の種類および出荷時の用紙の重さは、次のとおりです。なお、用紙の重さは、必要に応じて変更することができます。

用紙の種類	給紙元		
	手差しトレイ	給紙カセット	両面印刷
普通紙	○	○	○
OHP フィルム	○	×	×
プレプリント	○	○	○
ラベル紙	○	×	×
ボンド紙	○	○	○
再生紙	○	○	○
薄紙	○	×	×
レターヘッド	○	○	○
カラー紙	○	○	○
パンチ済み紙	○	○	○
封筒	○	×	×
はがき	○	×	×
厚紙	○	×	×
上質紙	○	○	○
カスタム 1 (to 8)†	○	○	○

† カスタムタイプは 8 種類まで登録できます。詳細は、2-25 ページの「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定)を参照してください。

2 操作パネル

この章では、操作パネルの使用方法を説明します。操作パネルでの設定は、お使いの環境に合わせた初期設定を行うときに使用します。通常は、アプリケーションソフトからのプリンタドライバによる設定が優先されます。

プリンタの各種設定は、操作パネルやプリンタドライバの他に京セラミタプリントモニタなど他のユーティリティを使用することにより、リモートで行うことも可能です。プリンタユーティリティは、プリンタ付属の CD-ROM からインストールできます。

- メッセージディスプレイ ...2-2
- キー ...2-4
- 操作パネルの使いかた ...2-6
- モード選択メニューの設定方法 ...2-8
- 「レポート印刷」（レポート印刷の選択） ...2-9
- 「USB メモリ」（USB メモリの選択） ...2-15
- 「カウンタ」（カウンタ値の選択） ...2-18
- 「用紙の設定」（用紙の設定） ...2-19
- 「印刷設定」（印刷の設定） ...2-29
- 「ネットワーク」（ネットワークの設定） ...2-43
- 「デバイス全般」（デバイス全般の選択・設定） ...2-50
- 「セキュリティ」（セキュリティ機能の設定） ...2-61
- 「管理者」（管理者の設定） ...2-70
- 「調整 / メンテナンス」（調整 / メンテナンスの選択・設定） ...2-73

メッセージディスプレイ

メッセージディスプレイには、プリンタの各種動作状態を示すメッセージが表示されます。

ステータス情報

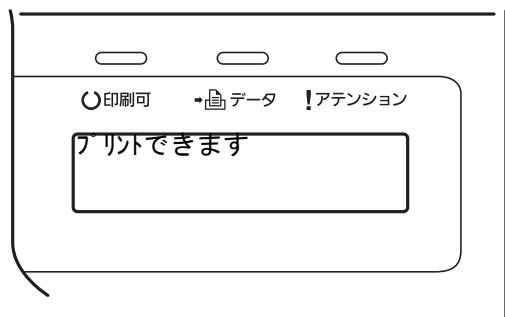
次のメッセージは、通常使用時の状態（ステータス）を表示するメッセージです。

メッセージ表示	意味
Self test	電源投入後のプリンタの自己診断中です。
しばらくお待ちください	プリンタはウォーミングアップ中です。印刷はできません。最初にプリンタの電源を入れた際は、このメッセージがしばらく表示されます。
お待ちください (トナー補給中)	トナーの補給中です。写真など多くのトナーを消費するデータを連続して印刷すると、このメッセージが表示されることがあります。
プリントできます	印刷できます。
データ処理中です	プリンタは印刷中か、データ処理中です。または、CF カード、USB メモリーまたは RAM ディスクのデータを読み込んでいます。
待機中です	プリンタはスリープモード（省電力モード）です。操作パネルの【印刷可 / 解除】キーを押したり、印刷データを受信したりすると、スリープモードから復帰し、ウォーミングアップ後に印刷できる状態になります。 プリンタがスリープモードに移行するまでの時間は、2-60 ページの「オートスリープ」（オートスリープの設定）を参照してください。
データキャンセル中	印刷データをキャンセルしています。印刷データのキャンセルの方法は、2-4 ページの【キャンセル】キーを参照してください。

エラーコード

メッセージディスプレイには、障害が発生した場合のエラーコードも表示されます。エラーコードについては、[使用説明書 5 困ったときは](#)を参照してください。

メッセージディスプレイ内のその他の表示



他の表示

他のインジケータとその意味を説明します。

表示	表示
○印刷可	<p>点滅：エラーが発生しています。使用説明書5困ったときは（エラーメッセージ）を参照してエラーの処理をしてください。</p> <p>点灯：印刷ができる状態です。受信した印刷データは印刷されます。</p> <p>消灯：「プリントできます」が表示されているときに【キャンセル】キーが押されました。印刷データの受信は可能です。印刷できる状態にするには、再度【キャンセル】キーを押してください。</p> <p>印刷データをキャンセル中です。</p> <p>紙づまり、トナーカット、カバーが開いているなどのエラーが発生しています。使用説明書5困ったときは（エラーメッセージ）を参照してエラーの処理をしてください。</p> <p>上記以外の理由の場合は、プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。</p>
■データ	<p>点滅：プリンタは印刷データを受信しています。</p> <p>点灯：印刷処理中です。または、CFカード、RAMディスク、またはUSBメモリーにデータをアクセス中です。</p>
！アテンション	<p>点滅：「しばらくお待ちください」が表示されている場合、プリンタは準備中です。</p> <p>用紙の補給、プリンタの清掃、メンテナンスキットの交換、トナーキットの用意、CFカードのフォーマットが必要です。メッセージディスプレイの表示を確認して必要な処理を行ってください。詳しくは、使用説明書5困ったときは（エラーメッセージ）を参照してください。</p> <p>点灯：紙づまり、トナーカット、カバーが開いているなどのエラーが発生しています。使用説明書5困ったときは（エラーメッセージ）を参照してエラーの処理をしてください。エラーメッセージで「解除を押してください」と表示された場合は、【印刷可/解除】キーを押すと印刷が再開されます。</p> <p>セキュリティまたはシステム管理で入力したIDやパスワードが間違っています。正しいIDおよびパスワードを入力してください。</p>

キー

各キーの機能は次のとおりです。複数の機能を持っています。

[印刷可 / 解除] キー



印刷可 / 解除

- 特定のエラー解除を行います。
- スリープモードから復帰します。

[キャンセル] キー



キャンセル

- 実行中の印刷をキャンセルします。
- ブザーが鳴ったときに、ブザーを止めます。
- 入力した数値をリセットしたり、設定を途中で中止します。

印刷のキャンセルのしかた

- メッセージディスプレイに「データ処理中です」が表示されていることを確認して、[キャンセル] キーを押します。
「印刷のキャンセル?」が表示され、現在のジョブ名が表示されます。
- [△] または [▽] キーで中止したいジョブ名を選択して、[実行] キーを押します。
メッセージディスプレイに「データキャンセル中」が表示され、現在印刷中のページが出力された後、印刷を中止します。

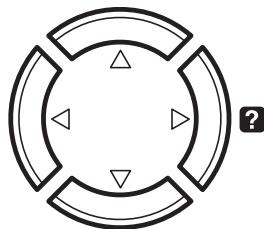
[メニュー] キー



メニュー

- モード選択メニューからプリンタの初期設定を変更するときや設定を終了するときに押します。
- メニュー選択中に押すと、設定を中断して印刷可能状態に戻ります。

矢印キー



- 目的のメニューを表示させるときや、設定値の変更を行うときに使用します。[△] と [▽] キーでメニューを切り換えて、[◀] と [▶] キーでサブメニューに移ります。
- 紙づまりなどが発生したときに [?] キーを押すと、メッセージディスプレイにオンラインヘルプメッセージを表示します。オンラインヘルプを中止するときは、もう一度押します。
- メッセージディスプレイに「代用給紙しますか？」が表示された際に、[△] と [▽] キーで代用する給紙元を選択します。

[実行] キー



- モード選択メニューで設定した内容を確定します。
- メッセージディスプレイに「代用給紙しますか？」が表示された際に、給紙元を確定します。

操作パネルの使いかた

ここでは、モード選択メニューについて説明します。

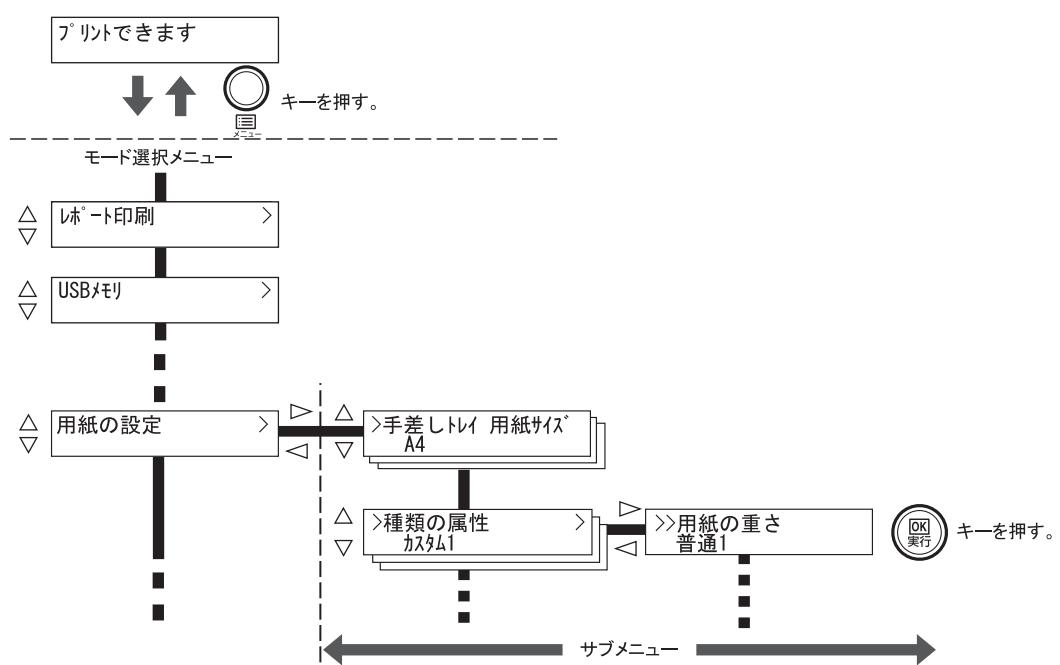
操作パネルの【メニュー】キーを使って、印刷ページ数やエミュレーションなどプリンタの環境を設定、変更できます。各設定はプリンタのメッセージディスプレイが「プリントできます」、「データ処理中です」、「待機中です」表示のときに行えます。

メニュー選択の基本操作

モード選択メニューへの入りかた

プリンタが「プリントできます」、「データ処理中です」、「待機中です」表示状態のときに【メニュー】キーを押してください。

モード選択メニューが表示されます。



メニューの選択

モード選択メニューは階層構造（ツリー構造）をしています。[△] または [▽] キーを押して、目的のメニューを表示させます。

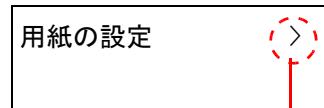
- 選択したメニューにサブメニューがある場合は、メニュー名に続いて「>」が表示されます。

- サブメニュー名の前には「>」が表示されます。

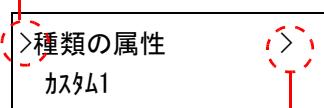
さらにサブメニューがある場合は、サブメニュー名に続いて「>」が表示されます。さらに下の階層へ移動するときは [▷] を押してください。

上の階層に戻るときは [◁] を押してください。

2 階層目のサブメニュー名の前には「>>」が表示されます。



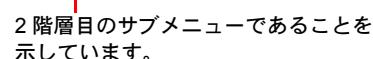
サブメニューがあることを示しています。



サブメニューであることを示しています。



さらにサブメニューがあることを示しています。



2 階層目のサブメニューであることを示しています。

メニューの設定

目的のメニューを選択してから [実行] キーを押してください。そのメニューの設定操作に入りますので、[△] または [▽] キーを押して希望の表示を選択し、[実行] キーを押して確定してください。

メニュー操作の中断

メニュー操作中に [メニュー] キーを押すと、「プリントできます」表示状態に戻ります。

参考：操作パネルの設定よりも、アプリケーションやプリンタドライバからの設定が優先されます。

モード選択メニューの設定方法

ここではモード選択メニューから行う設定手順について、各メニューごとに説明します。

- 1 「プリントできます」、「しばらくお待ちください」、「待機中です」、「データ処理中です」と表示されているときに【メニュー】キーを押すと、モード選択メニューが表示されます。（例：「レポート印刷」）

レポート印刷 >

- 2 [△] または [▽] キーを押すと、以下のモード選択メニューが循環して表示されます。
- ・ 「レポート印刷」（レポート印刷の選択）
 - ・ 「USB メモリ」（USB メモリの選択）
 - ・ 「カウンタ」（カウンタ値の選択）
 - ・ 「用紙の設定」（用紙の設定）
 - ・ 「印刷設定」（印刷の設定）
 - ・ 「ネットワーク」（ネットワークの設定）
 - ・ 「デバイス全般」（デバイス全般の選択・設定）
 - ・ 「セキュリティ」（セキュリティの設定）
 - ・ 「管理者」（管理者の設定）
 - ・ 「調整／メンテナンス」（調整／メンテナンスの選択・設定）

参考：電源を入れ最初のモード選択をした場合、「レポート印刷」が表示されます。2回目以降は、前回最後に選択されたメニューが表示されます。

「レポート印刷」(レポート印刷の選択)

レポートの印刷をします。レポート印刷には以下の項目があります。

- 「メニュー・マップの印刷」(メニュー・マップの印刷)
- 「ステータスページの印刷」(ステータスページの印刷)
- 「フォントサンプルの印刷」(フォントサンプルの印刷)
- 「RAM ディスクファイルリストの印刷」(RAM ディスクファイルリストの印刷)
- 「メモリカードファイルリストの印刷」(メモリカードファイルリストの印刷)

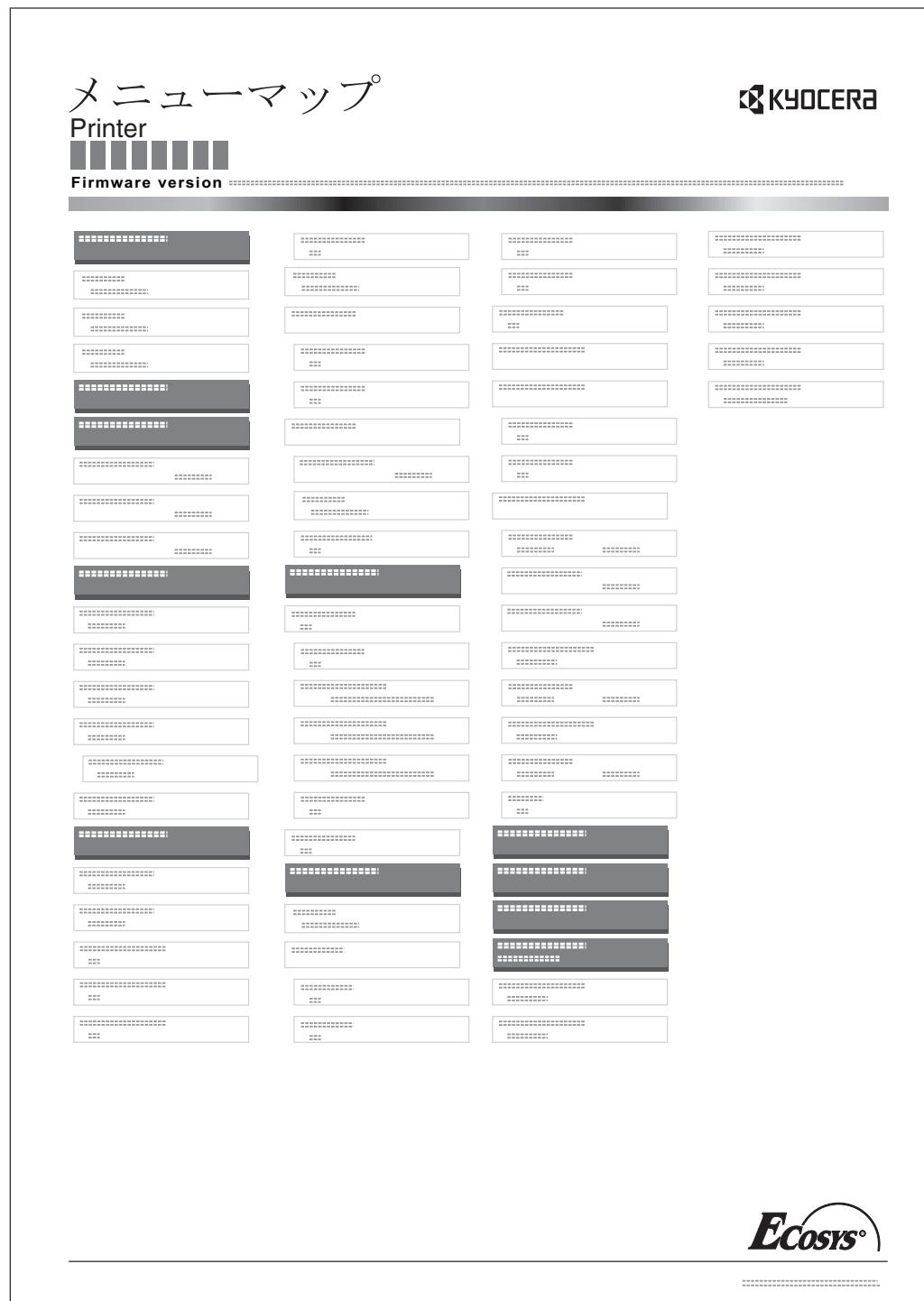
- 1 [メニュー] キーを押します。
 - 2 「レポート印刷 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- レポート印刷 >

メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

「メニュー・マップの印刷」(メニュー・マップの印刷)

モード選択メニューで表示されるすべてのメニューを印刷します。

- 1 「レポート印刷」表示中に、[▷] キーを押します。
 - 2 「>メニュー・マップ の印刷」が表示されます。他の表示の場合、表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
 - 3 [実行] キーを押します。「?」が表示されます。
 - 4 [実行] キーを押します。「データ処理中です」が表示され、メニュー・マップを印刷します。
- >メニュー・マップ の印刷 ?



「ステータスページの印刷」(ステータスページの印刷)

ステータスページを印刷して、プリンタの現在の設定状況、使用可能メモリ、装着しているオプション機器などの情報を確認できます。

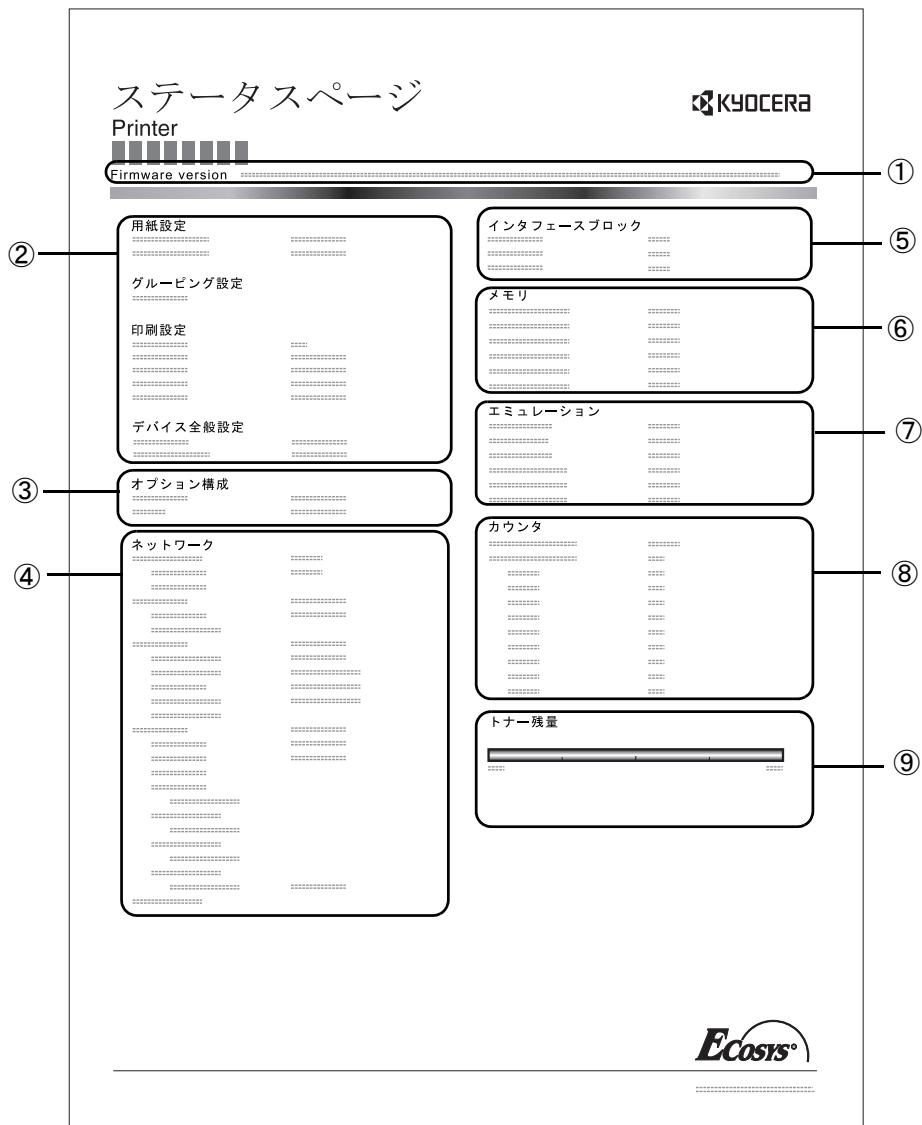
- 1 「レポート印刷」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>ステータスページ の印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。「?」が表示されます。

>ステータスページ の印刷 ?
- 4 もう一度、[実行] キーを押すと、「データ処理中です」が表示され、ステータスページを印刷します。
ステータスページに記載されている各項目の説明は、次の**ステータスページの内容**を参照してください。

ステータスページの内容

次はステータスページの印刷例です。各項目については次ページに説明があります。

参考：プリンタのファームウェアのバージョンにより、ステータスページに印刷される項目や値が異なる場合があります。



① ファームウェア(Firmware Version)

ファームウェアのバージョンと発行日です。

② プリンタ設定状況(Paper Setting, Print Setting, Device Common Setting)

カセットにセットされている用紙サイズと用紙種類、プリンタの主な設定項目についての情報を表示します。

③ 装着オプション(Option Setting)

プリンタに装着されている、オプション機器の状態を表示します。

④ ネットワークステータス(Network)

ネットワーク関係の設定状態を表示します。TCP/IP欄には、IPアドレス、サブネットマスクアドレス、デフォルトゲートウェイアドレスを表示します。

⑤ インタフェース(Interface Block)

USBメモリスロットや、USBインターフェースのブロック状況を表示します。

⑥ メモリ使用状況(Memory)

プリンタに装着されている総メモリ、および現在のRAMディスクの状態が表示されます。

⑦ エミュレーション(Emulation)

設定できる全エミュレーションを表示します。出荷時にはPCL 6エミュレーションに設定されています。

⑧ ページ情報(Counter)

設定印刷ページ数、総印刷ページ数を表示します。

⑨ 消耗品(Toner Gauge)

トナーコンテナの、およそのトナー残量を表示します。100から0に近づくほどトナーの残量が少なくなります。

「フォントサンプル の印刷」(フォントサンプルの印刷)

フォント選択の目安となる、フォントリストを印刷できます。

1 「レポート印刷」表示中に、[▷] キーを押します。

2 「>フォントサンプルの印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

3 [実行] キーを押します。「?」が表示されます。

>フォントサンプルの印刷 ?

- 4 [実行] キーを押します。「データ処理中です」が表示され、フォントサンプルを印刷します。

「RAMディスク ファイル リストの印刷」(RAMディスクファイルリストの印刷)

RAMディスク内にあるファイルのリストを印刷できます。

重要 : RAMディスクモードがオノのとき表示されます。

- 1 「レポート印刷」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>RAMディスクファイルリストの印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。「?」が表示されます。

>RAMディスクファイル
リストの印刷 ?
- 4 [実行] キーを押します。「データ処理中です」が表示され、RAMディスクファイルリストを印刷します。

「メモリカード ファイル リスト の印刷」(メモリカードファイルリストの印刷)

メモリカード (CF カード) 内にあるファイルのリストを印刷できます。

重要 : メモリカードが装着され、正しくフォーマットされている場合のみ表示されます。

- 1 「レポート印刷」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>メモリカードファイルリストの印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。「?」が表示されます。

>メモリカードファイル
リストの印刷 ?
- 4 [実行] キーを押します。「データ処理中です」が表示され、メモリカードファイルリストを印刷します。

「USB メモリ」(USB メモリの選択)

USB メモリの取り外しやメモリ内の印刷設定をします。

USB メモリを装着すると、USB メモリメニューが自動的に表示されます。

重要 : このメニューは、USB メモリスロットのブロック設定が「ブロックしない」と設定されている場合のみ表示されます。詳しくは、2-62 ページの「インターフェースブロック」(インターフェース (外部機器) ブロックの設定) を参照してください。

USB メモリの選択には以下の項目があります。

- 「ファイルの印刷」(USB メモリのファイルの印刷)
- 「コピー」(ファイル印刷のコピー枚数の設定)
- 「給紙元」(ファイル印刷の給紙元の選択)
- 「デバイスの取り外し」(USB メモリの取り外し)
- 「ファイルリストの印刷」(ファイルリストの印刷)

- 1 [メニュー] キーを押します。
- 2 「USB メモリ >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。



メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

「ファイルの印刷」(USB メモリのファイルの印刷)

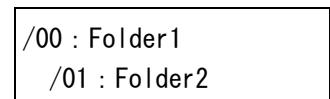
USB メモリ内にあるファイルの印刷設定ができます。

- 1 「USB メモリ」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「> ファイルの印刷」が表示されます。他の表示の場合、表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。「?」が表示されます。もう一度、[実行] キーを押すと、フォルダもしくはファイルが表示されます。(例: Folder1)



[△] または [▽] キーを押すと、フォルダもしくはファイルを循環して表示します。

下位のフォルダもしくはファイルがある場合、[▷] キーを押すと表示します。(例: Folder2)



さらに、下位のファイルがある場合、[▷] キーを押すと表示します。(例: File3)



重要 :「ファイルの印刷」メニューは、USB メモリ内に PDF、TIFF または XPS ファイルが入っている場合のみ表示されます。フォルダもしくはファイル表示は 3 階層までです。USB メモリの容量やファイル数によっては、表示に時間がかかる場合があります。

[△] または [▽]、[◀] または [▶] キーを押すことにより、フォルダの階層を移動できます。

- 4 [実行] キーを押します。「?」が表示されます。(例 : ファイル 3)

/.../01 : Folder2
? 02 : File3

- 5 [実行] キーを押します。「部数」(ファイル印刷のコピー枚数の設定)と「?」が表示されます。

部数
001

「部数」(ファイル印刷のコピー枚数の設定)

USB メモリ内で指定したファイルの印刷部数を設定します。

重要 :RAM ディスクが「オフ」に設定されている場合のみ表示されます。

- 1 上記手順 5 の「部数」表示中に、[△] または [▽]、[◀] または [▶] キーを押して印刷部数を表示させます。(例 : 10 部)

部数
010

- 2 [実行] キーを押します。「給紙元」(ファイル印刷の給紙元の選択)と「?」が表示されます。

給紙元
? カセット1

「給紙元」(ファイル印刷の給紙元の選択)

USB メモリ内で指定したファイルの印刷用紙を設定します。

- 1 上記手順 2 の「給紙元」表示中に、[△] または [▽]、[◀] または [▶] キーを押して給紙元を表示させます。(例 : カセット 2)

給紙元
? カセット2

メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

- 2 [実行] キーを押します。「データ処理中です」が表示され、USB メモリ内のファイルを印刷します。

「デバイスの取り外し」(USB メモリの取り外し)

USB メモリの取り外しを設定します。

- 1 「USB メモリ」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>デバイスの取り外し」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。「?」が表示されます。

>デバイスの取り外し ?

- 4 [実行] キーを押します。メニューが終了し、USB メモリを取り外すことができます。

「ファイルリストの印刷」(ファイルリストの印刷)

USB メモリ内にあるファイルのリストを印刷できます。

- 1 「USB メモリ」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>ファイルリストの印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。「?」が表示されます。

>ファイルリストの印刷 ?

- 4 [実行] キーを押します。「データ処理中です」が表示されファイルリストを印刷します。

「カウンタ」(カウンタ値の選択)

プリンタの総印刷ページ数の確認を行います。

- 1 [メニュー] キーを押します。
- 2 「カウンタ >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

カウンタ >
- 3 [▷] キーを押すと、「> 合計ページ数」(総印刷ページ) が表示されます。(例: 2000)

>合計ページ数
0002000
- 4 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「用紙の設定」(用紙の設定)

手差しトレイやカセット、各給紙元の用紙サイズと用紙の種類を設定します。

用紙の設定には以下の項目があります。

- 「手差しトレイ用紙サイズ」(手差しトレイの用紙サイズの設定)
- 「手差しトレイ用紙種類」(手差しトレイの用紙種類の設定)
- 「カセット(1~3)用紙サイズ」(給紙カセットの用紙サイズの設定)
- 「カセット(1~3)用紙種類」(給紙カセットの用紙種類の設定)
- 「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定)
- 「種類の属性のリセット」(カスタム設定のリセット)

- 1 [メニュー] キーを押します。
- 2 「用紙の設定 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

用紙の設定 >

用紙種類の設定

給紙カセットや手差しトレイの用紙種類を設定します。印刷時にプリンタドライバで用紙種類を選択できるようになります。

また、本機に登録されている用紙種類の他に、任意の用紙種類を設定できます。詳しくは、2-25 ページの「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定) を参照してください。

設定できる用紙の種類は、給紙元によって違います。次の表を参照してください。詳しくは、用紙についてを参照してください

	給紙元 手差しトレイ	給紙カセット	ペーパーフィーダ (オプション、PF-100)
用紙種類 (メッセージ表示)			
普通紙 [64 ~ 90 g/m ²] (普通紙)	○	○	○
OHP フィルム (OHP フィルム)	○	×	×
プレ印刷用紙 (プリント・リント)	○	○	○
ラベル用紙 (ラベル紙)	○	×	×
ボンド紙 (ボンド紙)	○	○	○
再生紙 [64 ~ 90 g/m ²] (再生紙)	○	○	○
薄い用紙 [64 g/m ² 未満] (薄紙)	○	×	×
レター・ヘッド (レターヘッド)	○	○	○
カラー紙 [64 ~ 90 g/m ²] (カラー紙)	○	○	○
パンチ済み用紙 (パンチ済み紙)	○	○	○
封筒 (封筒)	○	×	×
はがき (はがき)	○	×	×

厚い用紙 [120 ~ 220 g/m ²] (厚紙)	○	×	×
カラー印刷用紙 (上質紙)	○	○	○
カスタム# (カスタム#)	○	○	○

○：用紙種類を設定できます。 ×：用紙種類を設定できません。

「手差しトレイ用紙サイズ」(手差しトレイの用紙サイズの設定)

手差しトレイから給紙する用紙に正しく印刷するために、次の手順で用紙サイズを設定してください。工場出荷時は、A4 サイズに設定されています。

手差しトレイから給紙できる用紙サイズについては、用紙についてを参照してください。

参考：本メニューで設定した用紙サイズと同じサイズの用紙を、手差しトレイにセットしてください。サイズが一致しないと紙づまりの原因になります。

- 1 「用紙の設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「> 手差しトレイ 用紙サイズ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>手差しトレイ 用紙サイズ
? A4

- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望する用紙サイズを表示させます。表示されるサイズは次のとおりです。

Envelope Monarch

Envelope #10

Envelope #9

Envelope #6

Envelope DL

Envelope C5

A6

B6

A5

B5

ISO B5

A4

Executive

Letter

Legal

Custom

Oficio II

Statement

Folio

洋形2号

洋形4号

16K

はがき

往復はがき

- 5 [実行] キーを押します。

- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「手差しトレイ用紙種類」(手差しトレイの用紙種類の設定)

手差しトレイから給紙できる用紙種類を設定できます。工場出荷時の設定は「普通紙」に設定されています。

用紙の種類については、用紙についてを参照してください。

- 1 「用紙の設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。

- 2 「>手差しトレイ 用紙種類」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>手差しトレイ 用紙種類
? 普通紙

- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望する用紙種類を表示させます。表示される用紙種類は次のとおりです。

普通紙
OHPフィルム
レフプリント
ラベル紙
ボンド紙
再生紙
薄紙
レターヘッド
カラーペーパー¹
ハンド済み紙
封筒
はがき
厚紙
上質紙
カセット 1(～8)

参考：任意の用紙種類を定義して、プリンタに登録しておくことができます。詳しくは、2-25 ページの「種類の属性」（用紙種類のカスタム設定）を参照してください。

- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「カセット (1～3) 用紙サイズ」（給紙カセットの用紙サイズの設定）

本機の給紙カセットに用紙をセットする場合は、給紙カセットに用紙をセットし、操作パネルで用紙サイズを調整してください。

また、オプションのペーパーフィーダ PF-100 を装着している場合には、ペーパーフィーダの給紙カセットも同じ手順で設定します。

- 1 プリンタから給紙カセットを引き出します。
2 印刷する用紙のサイズに合わせて、給紙カセット内の用紙ガイドを調整し、用紙をカセットにセットします。

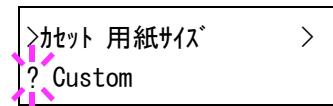
操作パネルからの用紙サイズの設定については、次項を参照してください。

操作パネルからの用紙サイズの設定

操作パネルから、給紙カセットにセットした用紙のサイズをプリンタに設定します。

- 1 「用紙の設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
2 「> カセット 用紙サイズ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、「カセット 1 用紙サイズ」がプリンタの給紙カセットとして、「カセット 2 用紙サイズ」、「カセット 3 用紙サイズ」がオプションのペーパーフィーダとして表示されます。

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] を押して、セットする用紙サイズを表示させます。表示される用紙サイズは次のとおりです。

Envelope C5
A6
A5
B5
ISO B5
A4
Executive
Letter
Legal
Custom
Oficio II
Statement
Folio
16K

- 5 希望の用紙サイズを表示させて [実行] キーを押します。給紙カセットの用紙サイズが設定されます。手順 4 で「Custom」を選んだ場合は次の項目で用紙の幅と長さを設定してください。

「単位」(単位の設定)

まず、次の手順で単位を設定します。

- 1 [▷] キーを押します。

- 2 「>>単位」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。単位はミリまたはインチが選択でき、現在設定されている単位が表示されます。(初期設定は「ミリ」です)

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

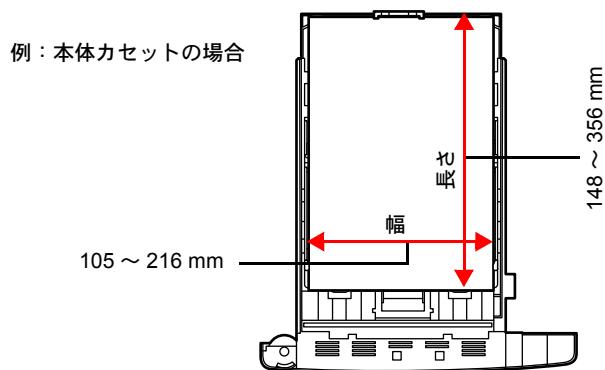


- 4 [△] または [▽] キーを押して「ミリ」または「インチ」を選択します。

- 5 [実行] キーを押します。

用紙幅と用紙長さの設定

次に、次の手順で用紙の幅と長さを設定します。図のように用紙サイズの「幅」と「長さ」を入力します。



1 [▽] キーを押します。下のような「>> 幅」(用紙幅設定) が表示されます。

2 [実行] キーを押すと、カーソル (__) が点滅します。

>>幅

216ミリ

3 [△] または [▽] キーを使って、カーソルが点滅している場所の数値を変更します。
[◀] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。

本体給紙カセットで設定できる用紙幅の範囲は、105 ~ 216 mm、オプションのペーパーフィーダ PF-100 で設定できる用紙幅の範囲は、148 ~ 216 mm です。

4 希望の用紙幅を表示させて、[実行] キーを押します。

5 用紙幅を設定後、[▽] キーを押します。「>> 長さ」(用紙長設定) が表示されます。用紙幅と同様の手順で用紙長を設定してください。

本体給紙カセットで設定できる用紙長の範囲は、148 ~ 356 mm、オプションのペーパーフィーダ PF-100 で設定できる用紙長の範囲は、210 ~ 356 mm です。

6 希望の用紙長を表示させて、[実行] キーを押します。

7 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「カセット (1 ~ 3) 用紙種類」(給紙カセットの用紙種類の設定)

給紙カセットごとに用紙種類を設定すると、印刷時にアプリケーションから指定した用紙種類に合わせて、自動的に給紙カセットが選択されて給紙します。工場出荷時は「普通紙」に設定されています。

オプションのペーパーフィーダ PF-100 を装着している場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットにも、同様の手順で用紙種類を設定できます。

給紙カセットから給紙できる用紙の種類について、詳しくは用紙についてを参照してください。

- 1 「用紙の設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>カセット 用紙種類」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、「カセット1 用紙種類」がプリンタの給紙カセットとして、「カセット2 用紙種類」、「カセット3 用紙種類」、がオプションのペーパーフィーダとして表示されます。

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>カセット 用紙種類
? 普通紙

- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望するカセットの用紙種類を表示させます。表示される用紙種類は次のとおりです。

普通紙
プロトント
ボンド紙
再生紙
レターヘッド
カラー紙
パンチ済み紙
上質紙
カスタム 1(～8)

参考：任意の用紙種類を定義して、プリンタに登録しておくことができます。詳しくは、2-25 ページの「種類の属性」（用紙種類のカスタム設定）を参照してください。

- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「種類の属性」（用紙種類のカスタム設定）

プリンタに任意の用紙種類を設定するカスタム設定は、最大 8 個まで登録できます。設定後は、各給紙元の用紙種類設定時に呼び出すことができます。

用紙種類のカスタム設定を行った後に、紙の厚さ、両面印刷および印刷濃度の設定を行います。詳しくは 2-26 ページの「用紙の重さ」（紙の厚さ設定）と、2-27 ページの「両面印刷の給紙」（両面印刷給紙の設定）を参照してください。カスタム設定をリセットするには、2-28 ページの「種類の属性のリセット」（カスタム設定のリセット）を参照してください。

- 1 「用紙の設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>種類の属性 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>種類の属性 >
? 普通紙

- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望する用紙種類を表示させてください。表示される用紙種類は次の通りです。

普通紙
OHPフィルム
フレフリント
ラベル紙
ボンド紙
再生紙
薄紙
レターヘッド
カラーペーパー¹
ハンド済み紙
封筒
はがき
厚紙
上質紙
カスタム 1(～8)

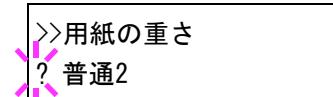
- 5 [実行] キーを押します。
6 [▷] キーを押して、次の紙の厚さ設定へ進んでください。

「用紙の重さ」(紙の厚さ設定)

カスタム設定で選択した用紙種類の紙の厚さを設定します。

- 1 カスタム設定の用紙種類を表示し (2-25 ページの「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定)を参照してください)、[▷] キーを押します。
- 2 「>> 用紙の重さ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望する紙の厚さを表示させます。表示される紙の厚さは次のとおりです。

軽い
普通1
普通2
普通3
重い1
重い2
重い3
OHP



初期設定はすべて「普通 2」です。各用紙で最適な印刷になるように、1-12 ページの用紙の種類を参照して紙の厚さを調整してお使いください。

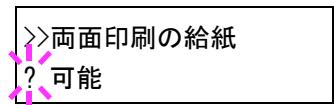
- 5 [実行] キーを押します。

- 6** [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

用紙種類を「カスタム」に設定している場合は、両面印刷の設定ができます。次の「両面印刷の給紙」（両面印刷給紙の設定）を参照してください。

「両面印刷の給紙」（両面印刷給紙の設定）

用紙種類を「カスタム」に設定している場合は、両面印刷の設定を次の手順で行えます。初期設定は「可能」に設定されています。

- 1** カスタム設定の用紙種類を表示させて（詳しくは 2-25 ページの「種類の属性」（用紙種類のカスタム設定）を参照してください）、[▷] キーを押します。
- 2** 「>>両面印刷の 給紙」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3** [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 4** [△] または [▽] キーを押して、「可能」または「不可能」を選択します。それぞれの用紙種類の初期設定について、詳しくは 1-2 ページの用紙の基本仕様を参照してください。
- 5** [実行] キーを押します。
- 6** [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「印刷濃度」（印刷濃度の設定）

印刷濃度は 01（薄い）～05（濃い）までの 5 段階の調整ができます。初期設定は 03 に設定されています。

- 1** カスタム設定の用紙種類を表示させて（詳しくは 2-25 ページの「種類の属性」（用紙種類のカスタム設定）を参照してください）、[▷] キーを押します。
- 2** 「>>印刷濃度」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3** [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 4** [△] または [▽] キーを押して、「01（薄い）」～「05（濃い）」までの 5 段階から印刷濃度を選択します。
- 5** [実行] キーを押します。
- 6** [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「種類の属性のリセット」(カスタム設定のリセット)

2-25 ページの「種類の属性」(用紙種類のカスタム設定) で設定したすべての種類について属性の設定をリセットします。

- 1 「用紙の設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「> 種類の属性のリセット」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が表示されます。

>種類の属性のリセット ?
- 4 [実行] キーを押します。設定した紙の厚さの設定および両面印刷の設定は、すべて初期設定値にリセットされます。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「印刷設定」(印刷の設定)

印刷時の階調設定、光沢の強弱、印刷枚数や縮小印刷、印刷方向など、印刷環境の設定を行います。

印刷品質の設定には以下の項目があります。

- 「給紙元」(給紙元の選択)
- 「給紙指定動作」(自動カセット切り替えの設定)
- 「両面印刷」(両面印刷モードの設定)
- 「A4/LT 共通」(A4/Letter 用紙の共通給紙設定)
- 「エミュレーション」(エミュレーションモードの設定)
- 「フォントの選択」(フォントの選択)
- 「コードセット」(コードの設定)
- 「印刷品質」(印刷品質の設定)
- 「印刷環境」(印刷環境の設定)

- 1 [メニュー] キーを押します。
- 2 「印刷設定 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

印刷設定	>
------	---

「給紙元」(給紙元の選択)

給紙元を設定します。アプリケーションからの印刷で給紙元を指定しないときは、ここで設定した給紙元から給紙されます。給紙カセットや手差しトレイのほかに、オプションのペーパーフィーダを給紙元として設定することもできます。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「> 給紙元」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>給紙元 ? カセット 1

- 4 [△] または [▽] キーを押して希望する給紙元を表示させます。装着されているオプション機器によって、次のように表示されます。
 カセットまたはカセット 1 (プリンタ標準のカセット)
 カセット 2
 カセット 3
 手差しトレイ
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「給紙指定動作」(給紙元の設定)

給紙元（カセット、トレイ）と用紙の種類を指定している場合、給紙の仕方を指定する機能です。「自動」にすると、用紙のサイズ、種類が合致した給紙元を検索し、一致した給紙元より用紙を送ります。「固定」にすると、指定した給紙元が合致しない場合、「エラー処理」の「用紙ミスマッチエラー」で設定した動作を行います。「固定」時の給紙動作については、2-56 ページの「用紙ミスマッチエラー」（給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラー検知設定）を参照してください。初期設定は「自動」です。設定を変更する場合は、次の手順で行ってください。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[>] キーを押します。
- 2 「>給紙指定動作」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>給紙指定動作
 ? 自動
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「自動」または「固定」を表示させます。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

印刷途中で用紙がなくなったとき

給紙指定動作を「固定」に設定した場合、印刷途中で給紙カセットの用紙がなくなると、「カセット1から給紙します」と表示して待機します。この場合は、用紙がなくなった給紙カセットに用紙を補給するか、次の手順で他の給紙元から印刷を行います。

- 1 「カセット1から給紙します」を表示中に、「代用給紙しますか？」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 2 希望する給紙元およびサイズが表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
[△] または [▽] キーを押すごとに、他の給紙カセットあるいは手差しトレイの現在使用できる給紙サイズが表示されます。
- 3 [実行] キーを押します。印刷が続行されます。

「両面印刷」(両面印刷モードの設定)

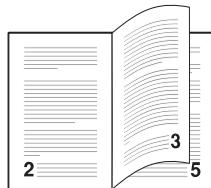
両面印刷が可能な用紙の種類は、給紙カセットから給紙できる用紙です。手差しトレイからのみ給紙できる用紙種類（OHP、ラベル紙、薄紙、封筒、はがき、厚紙）は、両面印刷できません。（2-19 ページの用紙種類の設定を参照）。

参考：手差しトレイから両面印刷する場合、給紙カセットから給紙できる用紙を使用しないと、紙づまりの原因となりますのでご注意ください。

製本モードの設定

製本モードには縁の長い側をとじる長辺とじと、縁の短い側をとじる短辺とじの2種類があります。長辺とじまたは短辺とじは、プリンタの縦置き（ポートレート）印刷や横置き（ランドスケープ）印刷と組み合わせて選択できます。したがって、製本の種類および印刷方向によって、製本モードは次の4通りが設定できます。

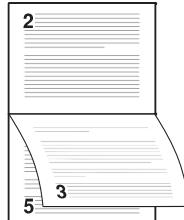
(1) 縦置き・長辺とじ



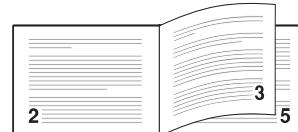
(2) 縦置き・短辺とじ



(3) 横置き・長边とじ



(4) 横置き・短辺とじ



参考：プリンタドライバのブックレット機能と組み合わせると、中とじ製本の可能な、ページ割付け印刷ができます。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>両面印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>両面印刷
? オフ
- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望する製本モードを表示させます。表示されるモードは次のとおりです。
オフ(初期設定)
短辺とじ
長辺とじ
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「A4/LT 共通」(A4/Letter 用紙の共通給紙設定)

この設定を「**オ**」にすると、A4 サイズと Letter を区別せずに給紙を行います。工場出荷時の設定では「**オフ**」(A4 サイズと Letter を区別する) になっています。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>A4/LT 共通」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 4 [△] または [▽] キーを押して、「**オ**」または「**オフ**」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「エミュレーション」(エミュレーションモードの選択)

次の手順でエミュレーションを選択します。

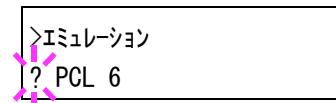
- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「> エミュレーション >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。現在選択されているエミュレーションが表示されます。

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望するエミュレーションを表示させます。次のエミュレーションが選択できます。
PCL 6 (初期設定)
KPDL (PostScript レベル3 互換)
KPDL (自動) (自動選択)
Line Printer
IBM Proprietary
DIABLO 630
EPSON LQ-850
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

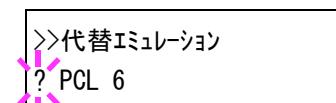
「KPDL（自動）」の代替エミュレーションの選択

エミュレーションの選択で「KPDL（自動）」を選択すると、印刷するデータに応じて KPDL と代替エミュレーションを自動的に切り替えます。初期設定の代替エミュレーションは「PCL 6」です。代替エミュレーションの変更は、次の手順で行ってください。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>エミュレーション >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



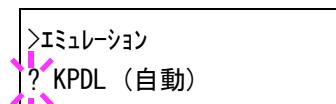
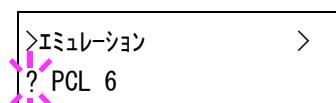
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「KPDL（自動）」を選択して、[実行] キーを押します。
- 5 [▷] キーを押します。「>>代替エミュレーション」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。現在設定されている代替エミュレーション名も表示されます。
- 6 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 7 [△] または [▽] キーを押して、設定したいエミュレーションを選択します。
- 8 [実行] キーを押します。
- 9 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。



「エラーレポート」(KPDL エラーの印刷)

KPDL エミュレーションモードで印刷中に、エラーが発生した際にその内容を印刷します。初期設定は、印刷する設定 (オフ) です。KPDL エラーを印刷するには、次の手順で設定を変更してください。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>エミュレーション >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「KPDL」または「KPDL（自動）」を選択して、[実行] キーを押します。



- 5 [▷] キーを押します。「>> エラーポート」が表示されます。初期設定は「オフ」になっています。
- 6 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 7 [△] または [▽] キーを押して、「オン」を表示させてから、[実行] キーを押します。

>> エラーポート
 ? オン
- 8 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「フォントの選択」(初期フォントの設定)

フォントを選択できます。プリンタ内蔵フォントだけでなく、プリンタのメモリにフォントをダウンロードしている場合や、CFカードにフォントがある場合は、初期フォントとして設定できます。また、フォントの太さ、サイズ、ピッチなども設定できます。

参考：フォントの種類に応じて、サイズまたはピッチのどちらかが設定できます。

フォントの選択

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「> フォントの選択 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。プリンタの内蔵フォントを選択する場合は、「標準」を選択します。
- 3 [▷] キーを押します。「>>1000」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

内蔵フォント以外のオプションフォントを選択する場合は、手順2の「フォントの選択」表示中に [実行] キーを押します。[△] または [▽] キーを押して「オプション」を表示させ、[実行] キーを押します。その後に [▷] キーを押すと、上記のようにフォント選択表示に変わります。この操作はオプションのフォントがプリンタにある場合のみ行えます。

フォント番号の前に表示されるアルファベットは、フォントの種類によって次のように表示されます。

表示	説明
I	プリンタ内蔵欧文フォント
IJ	プリンタ内蔵日本語フォント
S0	欧文ダウンロードフォント
SJ	日本語ダウンロードフォント
M0	CFカード内の欧文フォント
MJ	CFカード内の日本語フォント

- 4 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。



- 5 希望のフォント番号が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。内蔵フォントの番号は 4-2 ページの内蔵フォント一覧および 2-13 ページの「フォントサンプルの印刷」(フォントサンプルの印刷) を参照してください。
- 6 [実行] キーを押します。
- 7 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

Courier/Letter Gothic フォントの太さ選択

このメニューでは、Courier/Letter Gothic フォントの太さを、2 種類から選択できます。

ここでは、Courier フォントの太さを変える例を説明します。

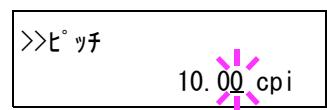
- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
 - 2 「> フォントの選択 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
 - 3 「標準」が表示されていることを確認して [▷] キーを押します。
 - 4 「>>Courier」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
Letter Gothic フォントの太さを変える場合は、「>>Letter Gothic」を表示させます。
 - 5 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。
-
- 6 [△] または [▽] キーで「標準」または「太い」を選択します。
 - 7 [実行] キーを押します。
 - 8 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

フォントの文字ピッチの設定

フォントの文字ピッチの設定ができます。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「> フォントの選択 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 「標準」が表示されていることを確認して [▷] キーを押します。
- 4 「>> ピッヂ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

- 5 [実行] キーを押すと、カーソル () が点滅します。

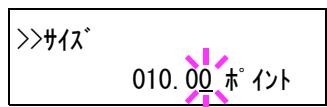


- 6 文字ピッチを変更します。カーソルが点滅している位置で [△] または [▽] キーを押して、数値を増減します。0.01 cpi ごとに 0.44 ~ 99.99 cpi の範囲で設定できます。
[<] または [>] キーを押すと、カーソルを左右に移動できます。
- 7 [実行] キーを押します。
- 8 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

フォントサイズの設定

上記で初期フォントに設定したフォントのサイズを設定します。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[>] キーを押します。
- 2 「> フォントの選択 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [>] キーを押します。
- 4 「>> サイズ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 5 [実行] キーを押します。カーソル () が点滅します。



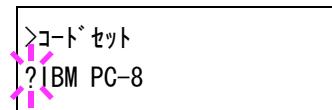
- 6 フォントサイズを変更します。カーソルが点滅している位置で [△] または [▽] キーを押して、数値を増減します。0.25 ポイントごとに 4 ~ 999.75 ポイントの範囲で設定できます。
[<] または [>] キーを押すと、カーソルを左右に移動できます。
- 7 [実行] キーを押します。
- 8 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「コードセット」(コードセットの設定)

PCL 6 エミュレーション時、初期フォントとしてプリンタ内蔵のフォントが選択されている場合に、文字コードセットを選択できます。選択できる文字コードセットは、現在選択されているフォントにより変化します。初期値として IBM PC-8 が設定されています。

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[>] キーを押します。
- 2 「> コードセット」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

- 3 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。



- 4 希望するコードセットが表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

- 5 [実行] キーを押します。

- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「印刷品質」(印刷品質の設定)

KIR モードやエコプリントなどが設定できます。

印刷品質の設定には以下の項目があります。

- 「KIR モード」(KIR モードの設定)
- 「エコプリントモード」(エコプリントモードの選択)
- 「解像度」(解像度の選択)

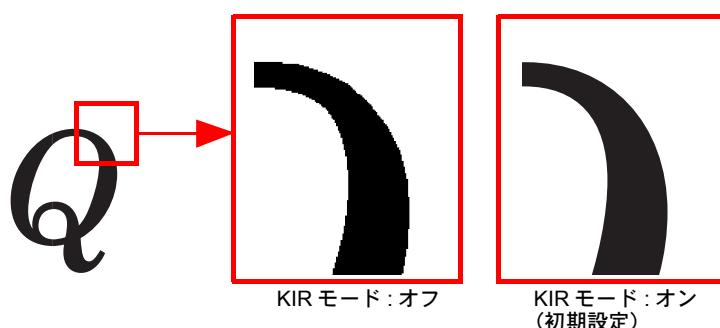
- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。

- 2 「> 印刷品質 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。



「KIR モード」(KIR モードの設定)

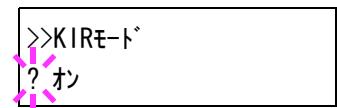
本プリンタは京セラ独自のスムージング機能 KIR (Kyocera Image Refinement) を搭載しています。KIR はプリンタの解像度をソフト的に向上させることによって、高品質の印刷を実現します。



参考：KIR はプリンタの印刷スピードには影響しません。

KIR モードは、次のように切り替えます。初期設定は「オン」です。

- 1 「> 印刷品質 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>KIRモード」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」か「オフ」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

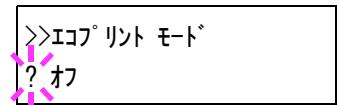


「エコプリント モード」(エコプリントモードの設定)

エコプリントモードを「オン」にすると、トナー消費量をおさえて印刷することができます。印刷結果は標準解像度に比べ、画像がやや粗くなるため、試しプリントなど高品質な出力紙が必要でないときに使用してください。

エコプリントモードは、次のように切り換えます。初期設定は「オフ」です。

- 1 「> 印刷品質 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>> エコプリント モード」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」か「オフ」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。



「解像度」(解像度の設定)

本プリンタは 300dpi、600dpi、Fine 1200 および Fast 1200 モードの 4 種類の解像度を設定できます。

- 1 「> 印刷品質 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>> 解像度」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押して、「Fine1200 モード」、「Fast1200 モード」、「600 dpi」または「300 dpi」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「印刷環境」（印刷環境の設定）

印刷枚数や印刷方向など、印刷環境の設定を行います。

印刷環境の設定には以下の項目があります。

- ・ 「コピー枚数」（印刷枚数の設定）
- ・ 「印刷の向き」（印刷方向の選択）
- ・ 「LF（改行）動作」（改行動作の設定）
- ・ 「CR（復帰）動作」（復帰動作の設定）
- ・ 「ワイド A4」（ワイド A4 の設定）
- ・ 「XPS 印刷範囲設定」（XPS データ印刷範囲の設定）
- ・ 「TIFF サイズ」（TIFF 印刷方法の設定）

- 1 「印刷設定 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「> 印刷環境 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

>印刷環境 >

「コピー 枚数」（印刷枚数の設定）

印刷する枚数を設定します。

- 1 「> 印刷環境 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>> コピー枚数」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、カーソル（__）が点滅します。

>>コピー枚数
001

- 4 [△] または [▽] キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減します。1 ~ 999 まで設定できます。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルを左右に移動できます。
- 5 希望の印刷枚数を表示させて、[実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

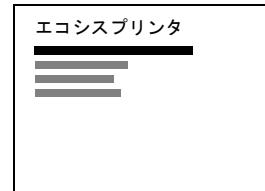
「印刷の向き」(印刷方向の選択)

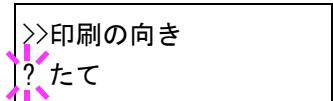
印刷方向を縦向き、または横向きのどちらかを選択します。

縦向き「タテ」



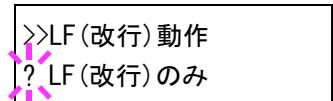
横向き「ヨコ」



- 1 「> 印刷環境 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>> 印刷の向き」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 4 [△] または [▽] キーを押して「たて」または「よこ」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「LF(改行)動作」(改行動作の設定)

プリンタが改行コード（文字コード 0AH）を受信したときの動作を設定します。

- 1 「> 印刷環境 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>LF(改行)動作」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 4 希望する改行動作が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
 - LF(改行)のみ：改行を行います（初期設定）。
 - CR(復帰)+LF(改行)：改行および復帰を行います。
 - LF(改行)を無視する：改行を行いません。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「CR（復帰）動作」（復帰動作の設定）

プリンタが復帰コード（文字コード 0DH）を受信したときの動作を設定します。

- 1 「> 印刷環境 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>CR（復帰）動作」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>>CR(復帰)動作
 ? CR(復帰)のみ
- 4 希望する復帰動作が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
 CR(復帰)のみ：復帰を行います（初期設定）。
 CR(復帰)+LF(改行)：復帰および改行を行います。
 CR(復帰)を無視する：復帰を行いません。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「ワイド A4」（ワイド A4 の設定）

この設定を「オ」にすると、A4 ページ 1 行に印刷できる文字数が 80 文字に増加します（10 cpi）。この設定は PCL 6 のエミュレーションでのみ有効になります。

- 1 「> 印刷環境 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>ワイド A4」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>>ワイド A4
 ? オ
- 4 [△] または [▽] キーを押して「オ」または「オフ」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「XPS 印刷範囲設定」（XPS データ 印刷範囲の設定）

この設定を「オ」にすると、XPS データを用紙サイズに合わせて印刷します。「オ」の場合、元のデータのまま印刷します。

- 1 「> 印刷環境 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>XPS 印刷範囲設定」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>>XPS印刷範囲設定
? オフ

- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択します。

- 5 [実行] キーを押します。

- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「TIFF サイズ」(TIFF データ印刷方法の設定)

TIFF データの印刷方法を設定します。初期設定は、「用紙サイズに合わせる」です。

- 1 「> 印刷環境 >」表示中に、[▷] キーを押します。

- 2 「>>TIFF サイズ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

>>TIFF サイズ
? 用紙サイズに合わせる

- 4 [△] または [▽] キーを押して、希望する印刷方法を表示させます。表示される印刷方法は次のとおりです。

「用紙サイズに合わせる」(用紙サイズに合わせる)

「画像解像度」(画像解像度に合わせる)

「印刷解像度」(印刷解像度に合わせる)

- 5 [実行] キーを押します。

- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「ネットワーク」(ネットワークの設定)

本機は、TCP/IP、TCP/IP (IPv6) プロトコルに対応しています。

IPとは、インターネットプロトコルを意味します。通常IPはTCP/IP (IPv4)を使用し、次世代のIPであるIPv6 (バージョン6)と区別しています。

TCP/IP (IPv4)では、IPアドレスに32ビットが使用されていますが、インターネット・ユーザーの急速な拡大に伴って、IPアドレスが不足するようになりました。このため、IPアドレスに128ビットを使用し、広範囲に適応できるIPv6が開発されました。

ネットワークの設定には以下の項目があります。

- 「TCP/IP」(TCP/IP (IPv4) の設定)
- 「TCP/IP (IPv6)」(TCP/IP (IPv6) の設定)

参考：設定するネットワークは、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワーク関連の設定がすべて完了したら、設定を有効にするためにプリンタを再起動してください。

- 1 [メニュー] キーを押します。
- 2 「ネットワーク >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。



「TCP/IP」(TCP/IP (IPv4) の設定)

TCP/IP (IPv4)の各種設定を行います。

TCP/IPシステムは、インターネット・システムを示し、インターフェース層、リンク層、ネットワーク (IP) 層、トランスポート (TCP/UDP) 層、アプリケーション層の5つのレイヤ構成になっています。

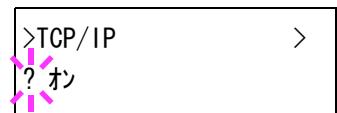
インターフェース層は、TCP/IPシステムの1つの特徴となっている層で、IPモジュール (IP層)に対してリンク (通信回線: フレーム・リレー、Ethernetなど)に依存しない、抽象化されたインターフェースを提供します。このため、IPモジュールは、この抽象化された (リンク種別に依存しない)インターフェースを用いて、IPパケットをリンク層に渡し、リンク層から受け取っています。

TCP/IP (IPv4)の設定には以下の項目があります。

- 「DHCP」(DHCPの設定)
- 「IPアドレス」(IPアドレスの設定)
- 「サブネットマスク」(サブネットマスクの設定)
- 「デフォルトゲートウェイ」(ゲートウェイの設定)
- 「Bonjour」(Bonjourの設定)

重要：TCP/IPのDHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、Bonjourのメニューは、TCP/IPオン時に表示されます。

- 1 「ネットワーク >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>TCP/IP >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択します。
- 5 「オン」を選択し、[実行] キーを押します。以降、DHCP 等の各種設定をします。



「DHCP」(DHCP の設定)

DHCP は、動的ホスト構成プロトコルで、ホストがネットワーク（インターネット）に接続しようとする際に、自ノードの IP アドレスやデフォルト・ルータ（自分が属するネットワーク・システム内にあるルータ）の IP アドレス、DNS（Domain Name System、ドメイン名解決システム）サーバなどの、ネットワーク接続に必要な情報を与えるプロトコルです。DHCP は、BOOTP（Bootstrap Protocol、起動プロトコル。ブート・ピーと読む）を拡張しています。

- 1 「>TCP/IP > オン」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>DHCP」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。
- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。



「IP アドレス」(IP アドレスの設定)

IP アドレスとは、インターネットのデータ（IP パケット）を送受信するため、必要な IP パケットの中に含まれている、PC などの住所のことを示します。（宛先アドレスと送信アドレスがある）。

具体的には、インターネットに接続された PC（ホスト）を識別する「ホスト・アドレス（ホスト部とも言う）」と、その PC（ホスト）が属しているネットワーク（具体的には PC のネットワーク・インターフェースを指す）を識別する「ネットワーク・アドレス（ネットワーク部）」の 2 つで構成され、ビット列となっています。インターネット・システム全体の中で唯一の（一意の）ビット列（IP アドレス）が、それぞれの PC あるいはインターフェースに割り当てられます。

現在のインターネット（IPv4：IP バージョン 4）で用いられている IP アドレスは、32 ビットの固定長となっています。

重要：IP アドレスを入力するときは、DHCP の設定を「オフ」にしてください。

- 1 「>TCP/IP > オン」表示中に、[▷] キーを押します。
 - 2 「>>IP アドレス」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
 - 3 [実行] キーを押すと、カーソル (__) が点滅します。
- >>IP アドレス
 000.000.000.000
- 4 [△] または [▽] キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減します。000～255 まで設定できます。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルを左右に移動できます。
 - 5 希望の IP アドレスを表示させて、[実行] キーを押します。
 - 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「サブネットマスク」（サブネットマスクの設定）

サブネットマスクは、IP アドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて 1 として表現し、ホスト・アドレス部をすべて 0 として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス (Prefix) とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IP アドレスの「先頭部分」を指します。

IP アドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、“133.201.2.0/24” のように “/” (スラッシュ) の後にプレフィックス長 (この場合は「24」) を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長 (つまりネットワーク部) が 24 ビットの「133.201.2.0」という IP アドレスということになります。

サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部 (本来のホスト・アドレス部の一部分) をサブネット・アドレスと呼びます。

重要：サブネットマスクを入力するときは、DHCP の設定を「オフ」にしてください。

- 1 「>TCP/IP > オン」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>サブネットマスク」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、カーソル (__) が点滅します。

>>サブネットマスク
 000.000.000.000

- 4 [△] または [▽] キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減します。000～255まで設定できます。[◀] または [▷] キーを押すとカーソルを左右に移動できます。
- 5 希望のサブネットマスクを表示させて、[実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「デフォルトゲートウェイ」(ゲートウェイの設定)

ゲートウェイとは、一般的にプロトコル体系が異なるネットワーク間を相互接続するためのプロトコル変換器のことを示します。

例えば、異なる閉じたネットワーク（独自のプロトコル環境）と、オープンなインターネット（TCP/IP プロトコル環境）をつなぐ装置として「ゲートウェイ」が必要となります。

ゲートウェイを導入することによって、異なるネットワーク間で「通信プロトコル」や「データの表示方法」が相互に変換できるようになります。

TCP/IP ネットワークでは、ルータを指してゲートウェイ（デフォルト・ゲートウェイ）といいます。

重要：ゲートウェイを入力するときは、DHCP の設定を「オフ」にしてください。

- 1 「>TCP/IP > オン」表示中に、[▷] キーを押します。
 - 2 「>>デフォルトゲートウェイ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
 - 3 [実行] キーを押すと、カーソル (_) が点滅します。
- >>デフォルトゲートウェイ
 000.000.000.000
- 4 [△] または [▽] キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減します。000～255まで設定できます。[◀] または [▷] キーを押すとカーソルを左右に移動できます。
 - 5 希望のゲートウェイを表示させて、[実行] キーを押します。
 - 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「Bonjour」(Bonjour の設定)

Bonjour は、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IP ネットワーク上の PC、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjour は、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したり DNS サーバを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjour は、UDP ポート 5353 上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjour が正しく動作するように UDP ポート 5353 が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjour パケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjour の動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjour が例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。Bonjour を Windows XP Service Pack 2 以降にインストールする場合、Windows ファイアウォールは Bonjour によって適切に設定されます。

- 1 「>TCP/IP > オン」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>Bonjour」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「TCP/IP (IPv6)」(TCP/IP (IPv6) の設定)

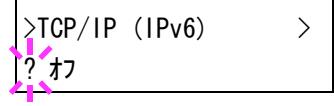
TCP/IP (IPv6) の各種設定を行います。

TCP/IP (IPv6) は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコル TCP/IP (IPv4) をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

TCP/IP (IPv6) の設定には以下の項目があります。

- 「RA (Stateless)」(RA (Stateless) の設定)
- 「DHCPv6」(DHCPv6 の設定)

参考 : TCP/IP (IPv6) の RA (Stateless) および DHCPv6 のメニューは、TCP/IP (IPv6) オン時に表示されます。

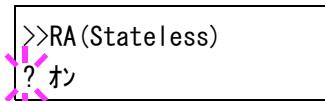
- 1 「ネットワーク >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>TCP/IP (IPv6) >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択します。

- 5 「**オン**」を選択し、[実行] キーを押します。メッセージディスプレイは、以下の各種設定に移ります。

「RA (Stateless)」(RA (Stateless) の設定)

IPv6 ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報を ICMPv6 で知らせます。この情報が Router Advertisement (RA) です。

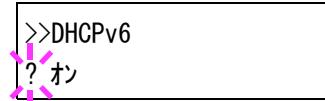
また、ICMPv6 はインターネット制御メッセージプロトコルのこと、RFC 2463 「Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification」で定義されている IPv6 標準です。

- 1 「>TCP/IP (IPv6) > オン」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>RA(Stateless)」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 4 [△] または [▽] キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「DHCPv6」(DHCPv6 の設定)

DHCPv6 は、次世代のインターネットプロトコルである IPv6 をサポートする動的ホスト構成プロトコルのこと、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義している BOOTP の拡張します。

DHCPv6 を使うと、DHCP サーバーは拡張機能を使って IPv6 ノードに構成パラメータを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者が IP アドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6 ノードの管理が低減されます。

- 1 「>TCP/IP (IPv6) > オン」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>DHCPv6」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 4 [△] または [▽] キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。

- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「デバイス全般」(デバイス全般の選択・設定)

本機の機能全般を選択・設定します。

デバイス全般の選択・設定には以下の項目があります。

参考：「メモリーカード」はオプションのため、プリンタ本体に装着されたときに表示されます。

- ・ 「表示言語」(表示言語の選択)
- ・ 「ブザー」(ブザーの設定)
- ・ 「RAMディスク モード」(RAMディスクの操作)
- ・ 「メモリカード」(メモリカードの操作)
- ・ 「エラー処理」(エラー検知の設定)
- ・ 「時間」(時間の設定)

- 1 [メニュー] キーを押します。
- 2 「デバイス全般 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。



「表示言語」(表示言語の選択)

メッセージディスプレイに表示するメッセージの言語を、日本語または英語に設定できます。

- 1 「デバイス全般 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「> 表示言語」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 表示言語を変えるときは、[実行] キーを押します。「?」が点滅します。

- 4 [△] または [▽] キーを押して、言語を変更します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

参考：表示言語を英語に切り替えた場合、メッセージディスプレイは「Ready」と表示されます。

「ブザー」(ブザーの設定)

プリンタの状況や操作をブザーを鳴らして知らせる機能です。プリンタが離れた場所にある場合などに便利です。

ブザーの設定には以下の項目があります。

- 「キー操作」(操作確認音の設定)
- 「印刷完了」(印刷完了音の設定)
- 「準備完了」(準備完了音の設定)
- 「警告」(警告音の設定)

1 「**デバイス全般** >」表示中に、[>] キーを押します。

2 「>**ブザー** >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。



「キー操作」(操作確認音の設定)

この設定を「**オン**」にすると、キーの操作時に音が鳴ります。初期設定は「**オフ**」です。

1 「>**ブザー** >」表示中に、[>] キーを押します。

2 「>>**キー操作**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。



4 [△] または [▽] キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択します。

5 [実行] キーを押します。

6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

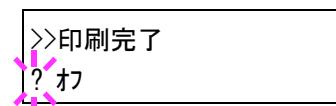
「印刷完了」(印刷完了音の設定)

この設定を「**オン**」にすると、印刷の完了時に音が鳴ります。初期設定は「**オフ**」です。

1 「>**ブザー** >」表示中に、[>] キーを押します。

2 「>>**印刷完了**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

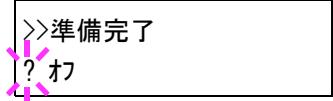


4 [△] または [▽] キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択します。

- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「準備完了」(準備完了音の設定)

この設定を「オン」にすると、印刷準備が整ったとき音が鳴ります。初期設定は「オフ」です。

- 1 「>プロト - >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>準備完了」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「警告」(警告音の設定)

この設定を「オン」にすると、印刷中に起る用紙切れや紙づまりなど不具合時に音が鳴ります。初期設定は「オフ」です。

- 1 「>プロト - >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>警告」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。

- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「RAMディスクモード」(RAMディスクの操作)

本機は RAM ディスク機能を搭載しています。RAM ディスクはプリンタの総メモリの中から、任意のメモリサイズを RAM ディスクとして設定できます。この機能により電子ソートが可能になり、トータルの印刷時間を短縮できます。RAM ディスクは初期設定では「オフ」に設定されています。

RAM ディスクを有効にした場合、最大設定値は標準で 4MB、オプションメモリを装着した時はその装着したオプションメモリの 1/2 の値になります。

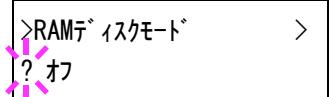
RAM ディスク機能を使用する前に、次のセクションで説明する方法で RAM ディスクを「オン」に設定し、RAM ディスクのデータサイズを設定後、再起動してください。

参考 : RAM ディスクは、プリンタのメモリーの一部を RAM ディスクに割り当てて使用します。

重要 : RAM ディスクは一時的にデータを保存する機能です。プリンタを再起動したり電源を切った場合は消去されます。

RAM ディスクはプリンタのユーザ使用可能メモリの中に割り当てられます。したがって、RAM ディスクの設定値によっては、印刷速度が落ちたり、メモリ不足のために正常に印刷されない場合があります。

- 1 「デバイス全般 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>RAM ディスクモード >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押すと、「?」が点滅します。


- 4 [△] または [▽] キーを押して「オン」または「オフ」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「RAMディスク サイズ」(RAMディスクのデータサイズ設定)

RAM ディスクに使用するメモリ量を設定します。

参考 : RAM ディスクサイズメニューは、RAM ディスクモードを「オン」にした時に表示されます。

- 1 「>RAM ディスクモード > オン」表示中に、[▷] キーを押します。

- 2 [実行] キーを押します。カーソル () が点滅します。
[△] または [▽] キーで RAM ディスクのサイズを変更します。001 ~ 512 の範囲で設定できます。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

>>RAMデイスクサイズ
119MByte

設定できる範囲はプリンタの総メモリによって変わります。

- 3 希望の RAM ディスクサイズを表示させて、[実行] キーを押します。
- 4 [メニュー] キーを押します。この後プリンタの電源を入れ直してください。再起動後に設定が有効になります。

「メモリカード」(CF カードの操作)

本機は CF カード (メモリカード) を使用して、次の操作が可能です。

- CF カードのフォーマット (初期化)

CF カードの取り扱いについては、3-7 ページの CF カード (メモリカード) を参照してください。

参考 : CF カードのメニューは、CF カードが差し込まれているときに表示されます。

- 1 「デバイス全般 >」表示中に、[▶] キーを押します。
- 2 「>メモリカード >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

>メモリカード >

「メモリカードのフォーマット」(CF カードの初期化)

未使用の CF カードを使用するためには、最初に本機で CF カードのフォーマットを行う必要があります。初期化すると、メモリーカードへのデータの書き込みが可能になります。

参考 : CF カードの初期化は、CF カードが挿入されていてプロテクトオフ時に表示されます。

すでにデータの書き込まれている CF カードに対してフォーマットを行った場合は、その CF カード内のデータはすべて消去されます。

CF カードのフォーマットは、必ずプリンタで行ってください。

CF カードをフォーマットするときは、次の手順で行ってください。本機でフォーマットしていない CF カードを装着した場合は、「メモリカードをフォーマットしてください」が表示されます。

- 1 「>メモリカード >」表示中に、[▶] キーを押します。
- 2 「>>メモリカード のフォーマット」が表示されます。

- 3 [実行] キーを押すと、「?」が表示されます。

>>メモリカードのフォーマット？

- 4 [実行] キーを押します。

「データ処理中です」が表示され、CFカードのフォーマットが実行されます。フォーマットが終了すると、メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「エラー処理」(エラー検知の設定)

両面印刷時のエラーや給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラーの検知方法を設定できます。

エラー検知の設定には以下の項目があります。

- 「両面印刷処理」(両面印刷時のエラー検知設定)
- 「用紙ミスマッチエラー」(給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラー検知設定)
- 「手差し紙なし表示」(手差しトレイに用紙が無い場合の表示設定)

- 1 「>バックスペース全般 >」表示中に、[▷] キーを押します。

- 2 「>エラー処理 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

>エラー処理

>

「両面印刷処理」(両面印刷時のエラー検知設定)

両面印刷を行う時、両面印刷できないラベルなどの用紙種類を指定した場合に、「両面印刷できません 解除を押してください」のメッセージを表示するか、しないかを選択できます。初期設定は「オフ」です。

- | | |
|---|---|
| オ | <ul style="list-style-type: none"> • [印刷可/解除]キーを押すと、片面印刷を行います。 • [キャンセル]キーを押すと、印刷そのものをキャンセルします。 |
|---|---|

- | | |
|----|------------|
| オフ | 片面印刷を行います。 |
|----|------------|

- 1 「>エラー処理 >」表示中に、[▷] キーを押します。

- 2 「>>両面印刷処理」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

- 3 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。

>>両面印刷処理
? オ

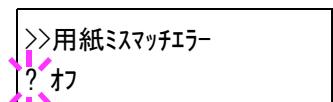
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オ」または「オフ」を選択します。

- 5 [実行] キーを押します。

- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「用紙ミスマッチエラー」(給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラー検知設定)

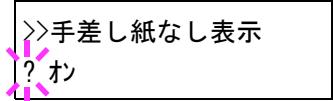
給紙元を固定して印刷するときに、用紙サイズまたは種類が異なる場合、そのまま給紙する（オフ）、もしくは給紙エラーを表示する（オン）を選択できます。初期設定は「オフ」です。

- 1 「> エラー処理 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>> 用紙ミスマッチエラー」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。

- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「手差し紙なし表示」(手差しトレイに用紙が無い場合の表示設定)

給紙元を手差しトレイに固定して印刷するときに、手差しトレイに用紙が無い場合、用紙なしメッセージを表示する（オン）、もしく表示しない（オフ）を選択できます。初期設定は「オン」です。

「オン」にすると、手差しトレイに用紙が無い場合、常に用紙なしメッセージが表示されます。

- 1 「> エラー処理 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>> 手差し紙なし表示」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。

- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「時間」(時間の設定)

自動改ページの待ち時間やオートスリープの待ち時間など、時間に関する設定を行います。

時間の設定には以下の項目があります。

- ・「改ページ待ち時間」(自動改ページ待ち時間(タイムアウト)の設定)
- ・「スリープ時間」(スリープ(待機)時間の設定)
- ・「オートエラークリア」(オートエラークリアの設定)
- ・「エラークリア時間」(オートエラークリアの設定時間の設定)
- ・「オートパネルリセット」(オートパネルリセットの設定)
- ・「パネルリセット時間」(パネルリセット時間の設定)
- ・「オートスリープ」(オートスリープの設定)

1 「デバイス全般 >」表示中に、[▷] キーを押します。

2 「> 時間 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。



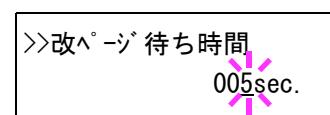
「改ページ待ち時間」(自動改ページ待ち時間(タイムアウト)の設定)

プリンタは PC からの印刷データを受け取る際に、PC からのデータ送信が終了したことを示す情報がないと、最後のページを印刷せずに待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページして残りのデータを印刷します。初期設定では 5 秒です。

1 「> 時間 >」表示中に、[▷] キーを押します。

2 「>> 改ページ待ち時間」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

3 [実行] キーを押すと、カーソル (__) が点滅します。



4 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。希望の時間を設定してください。待ち時間は 5 秒単位で 5 ~ 495 秒の間で設定できます。[◀] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。

5 [実行] キーを押します。

6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「スリープ時間」(スリープ(待機)時間の設定)

プリンタがスリープモードに入るまでの時間を設定します。印刷データを受信したり、操作パネルの [印刷可 / 解除] キーを押すと、プリンタはスリープモードより復帰します。初期設定では 15 分です。

1 「> 時間 >」表示中に、[▷] キーを押します。

2 「>>スリーブ 時間」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

3 [実行] キーを押すと、カーソル (__) が点滅します。



4 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。希望の時間を設定してください。待ち時間は 1 ~ 240 分の間で設定できます。[<] または [>] キーを押すとカーソルが左右に移動します。

5 [実行] キーを押します。

6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「オート エラークリア」(オートエラークリアの設定)

継続印刷の可能なエラーが発生した場合、一定時間が経過した後に次に受信しているデータを自動的に継続印刷します。たとえばプリンタを共有している場合、前に印刷していた人がそれらのエラーを発生させても、一定時間後には他の人の印刷を継続して印刷できます。初期設定は「オフ」(自動継続印刷しない) です。

継続印刷可能なエラー：

- ・ 「メモリオーバーフロー 解除を押してください」
- ・ 「プリントオーバーラン 解除を押してください」
- ・ 「KPDL エラー ## 解除を押してください」
- ・ 「RAM ディスクエラー ## 解除を押してください」
- ・ 「メモリカード エラー ## 解除を押してください」
- ・ 「両面印刷できません 解除を押してください」
- ・ 「複数印刷できません 解除を押してください」
- ・ 「USB メモリエラー ## 解除を押してください」

継続印刷が可能なエラーが発生してから印刷を再開するまでの時間は、次のエラークリアの復帰時間の設定で行ってください。

1 「> 時間 >」表示中に、[>] キーを押します。

2 「>> オートエラークリア」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

3 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。



4 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択します。

5 [実行] キーを押します。

- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「エラークリア時間」(オートエラークリアの復帰時間の設定)

オートエラークリアを「オン」に設定した場合、継続印刷が可能なエラーが発生してから印刷を再開するまでの復帰時間を設定します。初期設定は30秒です。

- 1 「> 時間 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>> エラークリア時間」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。カーソル (__) が点滅します。

>>エラークリア時間
 030sec.
- 4 [△] または [▽] キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望の時間を設定してください。設定時間は5秒単位で005～495秒の間で設定できます。[<] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「オートパネルリセット」(オートパネルリセットの設定)

オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。初期設定は「オン」(解除する)です。

リセットするまでの時間は、次のパネルリセット時間の設定で行ってください。

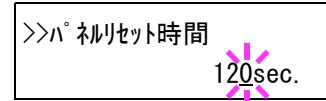
- 1 「> 時間 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>> オートパネルリセット」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。

>>オートパネルリセット
 ? オン
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「オフ」または「オン」を選択します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「パネルリセット時間」(パネルリセット時間の設定)

オートパネルリセットを「**オ**ン」に設定した場合、操作終了後、オートリセットされるまでの時間を設定できます。初期設定は 120 秒です。

- 1 「> 時間 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>> パネルリセット時間」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。カーソル (__) が点滅します。



- 4 [△] または [▽] キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望の時間を設定してください。設定時間は 5 秒単位で 005 ~ 495 秒の間で設定できます。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。
- 5 [実行] キーを押します。
- 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「オートスリープ」(オートスリープの設定)

本機は、データの受信や印刷などの処理を行っていないときに、電力消費を抑えるオートスリープを搭載しています。初期設定は「**オ**ン」です。

- 1 「> 時間 >」表示中に、[▷] キーを押します。
 - 2 「>> オートスリープ」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
 - 3 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。
- The box contains the text 'オートスリープ' above 'オ' with a pink starburst effect around it.
- 4 [△] または [▽] キーを押して、「**オ**ン」または「**オフ**」を選択します。
 - 5 [実行] キーを押します。
 - 6 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「セキュリティ」(セキュリティ機能の設定)

本機の操作およびデータを保護するため、セキュリティ機能の設定ができます。

セキュリティ機能の設定には以下の項目があります。

- 「ID」(管理者 ID の入力)
- 「パスワード」(管理者パスワードの入力)
- 「インターフェースブロック」(インターフェース(外部機器) ブロックの設定)
- 「NetWare」(NetWare の設定)
- 「AppleTalk」(AppleTalk の設定)
- 「IPP」(IPP の設定)
- 「SSL サーバ」(SSL サーバの設定)
- 「IPSec」(IPSec の設定)
- 「セキュリティレベル」(セキュリティレベルの設定)

- 1 [メニュー] キーを押します。
- 2 「セキュリティ >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。



「ID」(管理者 ID の入力)

セキュリティ機能を設定するには、管理者 ID の入力が必要です。管理者 ID の設定手順は、2-70 ページの「管理者」(管理者の設定) を参照してください。

- 1 「セキュリティ >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「ID」が表示され、カーソル (_) が点滅します。
- 3 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ~ 16 桁の数字で入力してください。
- 4 [実行] キーを押します。次の手順「パスワード」(管理者パスワードの入力) へ移ります。



「パスワード」(管理者パスワードの入力)

セキュリティ機能を設定するには、管理者 ID の入力の後、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードの設定手順は、2-70 ページの「管理者」(管理者の設定) を参照してください。

- 1 前の手順「ID」(管理者 ID の入力) で ID を入力すると、「パスワード」(管理者パスワードの入力) が表示され、カーソル (_) が点滅します。



- 2 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。[◀] または [▶] キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0 ~ 16 桁の数字で入力してください。

参考 : ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、「ID が違います」もしくは「パスワードが違います」が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

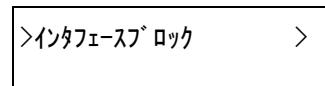
- 3 [実行] キーを押します。セキュリティ機能設定画面に移ります。

「インターフェースブロック」(インターフェース (外部機器) ブロックの設定)

インターフェースをブロックして、保護することができます。インターフェースブロックの設定には以下の項目があります。

- ・ 「USB ホスト」(USB メモリスロットの設定)
- ・ 「USB デバイス」(USB インタフェースの設定)

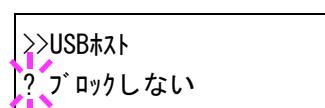
- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> インタフェースブロック >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。



「USB ホスト」(USB メモリスロットの設定)

USB メモリスロット (USB ホスト) をブロックして保護します。初期設定は「ブロックしない」です。

- 1 「> インタフェースブロック >」表示中に、[▶] キーを押します。「>>USBホスト」が表示されます。
- 2 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。
- 3 [△] または [▽] キーを押して、「ブロックする」または「ブロックしない」を選択します。
- 4 [実行] キーを押します。
- 5 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。



「USB デバイス」(USB インタフェースの設定)

USB インタフェースをブロックして保護します。初期設定は「ブロックしない」です。

- 1 「> インタフェースブロック >」表示中に、[▷] キーを押します。「>>USB デバイス」が表示されます。
- 2 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。

>>USB デバイス
 ? ブロックしない
- 3 [△] または [▽] キーを押して、「ブロックする」または「ブロックしない」を選択します。
- 4 [実行] キーを押します。
- 5 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「NetWare」（NetWare の設定）

NetWare（ネットウェア）は、PCで動作するサーバ専用のネットワーク・オペレーティング・システムです。

NetWare は、クライアント・サーバ型のシステムであり、サーバ機に NetWare OS を、クライアント機（MS-DOS、OS/2、Windows など）に専用のクライアントモジュール（NetWare クライアント）を導入して運用します。ネットワーク層のプロトコルは、独自の IPX (Internetwork Packet eXchange)/SPX (Sequenced Packet eXchange) を用いるのが基本ですが、TCP/IP にも対応しています。

NetWare OS の特徴は、完全にサーバ用途に特化しており、Windows NT や UNIX などの汎用 OS とは異なります。サーバ機の NetWare OS のコンソールからはサーバの運用に必要な最低限の操作しかできず、基本的にサーバやファイルの管理はクライアント機から管理ツールを用いて行います。また、ドライバやプロトコルスタックなどがすべて NetWare Loadable Module (NLM) というモジュール形式になっており、NLM の動的なロード・アンロードが自在に行えることも大きな特徴です。

初期設定は「オフ」です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>NetWare >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

>NetWare >
 オフ
- 2 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。

>NetWare >
 ? オフ
- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択します。
- 4 [実行] キーを押します。
- 5 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「フレーム タイプ」(フレームタイプの設定)

NetWare のフレームタイプを設定します。フレームとは、ネットワークを流れるひとかたまりのデータを示します。初期設定は「自動」です。

- 1 「>NetWare > オン」表示中に、[▷] キーを押します。「>> フレームタイプ」が表示されます。
- 2 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。

>>フレームタイプ
 ? 自動
- 3 [△] または [▽] キーを押して希望するフレームタイプを表示させて、[実行] キーを押します。表示されるタイプは次のとおりです。
 - ・ 「自動」(自動選択)
 - ・ 「802.3」
 - ・ 「Ethernet-II」
 - ・ 「802.2」
 - ・ 「SNAP」
- 4 [実行] キーを押します。
- 5 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「AppleTalk」(AppleTalk の設定)

AppleTalk (アップルトーク) は、主に Macintosh で使用されている通信プロトコル、または Mac OS のネットワーク機能を示します。

AppleTalk は 24 ビットのネットワークアドレス (16 ビットのネットワーク部と 8 ビットのノードアドレス) を実装し、ネットワーク上で各機器 (PC やプリンタなど) の識別に利用します。

電源を投入すると、ブロードキャスト信号をネットワーク上に流し、自動的にアドレスとマシン名を割り当てます。

初期設定は「オン」です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>AppleTalk」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

>AppleTalk
 オン

- 2 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。

>AppleTalk
 ? オン

- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択します。

- 4 [実行] キーを押します。
- 5 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「IPP」(IPP の設定)

IPP (Internet Printing Protocol、インターネットプリンティングプロトコル) は、インターネット網に代表される TCP/IP ネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンタと PC の間で印刷データなどのやりとりを行うための規格です。

Web ページの閲覧に使われる HTTP を拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンタに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTP の認証機構や、SSL によるサーバ認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

初期設定は「オフ」です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「> IPP」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。



- 2 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択します。

- 4 [実行] キーを押します。

- 5 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「SSL サーバ」(SSL サーバの設定)

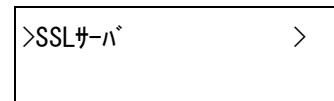
SSL (Secure Sockets Layer) はネットワーク上で情報を暗号化して送受信するプロトコルを示します。現在、インターネットで広く使われている WWW や FTP などのデータを暗号化し、プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができます。

SSL サーバは、このプロトコルを使用し、サーバおよびクライアントの認証を行います。

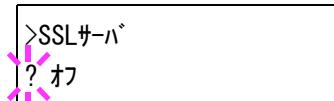
初期設定は「オフ」です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>SSL サーバ >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。



- 2 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択します。

- 4 [実行] キーを押します。

- 5 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「DES」(SSL サーバの DES 設定)

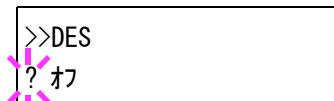
DES (Data Encryption Standard) は、代表的な共通鍵暗号アルゴリズムで、データを 64 ビット長のブロックに分割し、各ブロックを 56 ビット長の鍵で暗号化する共通鍵暗号方式を使用しています。

参考：共通鍵暗号方式では、暗号鍵と復号鍵が共通なため、暗号情報をやり取りする双方で鍵を共有します。したがって鍵の漏えいを防ぐために、鍵の受け渡しや保管などにおいて厳重な管理が必要となります。

初期設定は「オフ」です。

- 1 「>SSL サーバ > オン」表示中に、[▷] キーを押します。「>>DES」が表示されます。

- 2 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択します。

- 4 [実行] キーを押します。

- 5 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

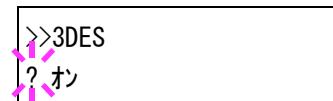
「3DES」(SSL サーバの 3DES 設定)

3DES (Triple Data Encryption Standard) は、DES を 3 重に繰り返すことで、暗号強度を高めています。

初期設定は「オン」です。

- 1 「>SSL サーバ > オン」表示中に、[▷] キーを押します。「>> 3DES」が表示されます。

- 2 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択します。

- 4 [実行] キーを押します。

- 5 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

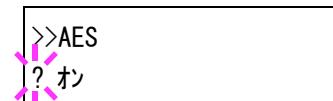
「AES」(SSL サーバの AES 設定)

AES (Advanced Encryption Standard) は、DES の安全性が低下してきたことを背景に、DES に代わる標準暗号として開発されました。AES は、SPN 構造（繰返し暗号の代表的な構成法）を採用したブロック長 128 ビットのブロック暗号で、鍵長は 128 ビット、192 ビット、256 ビットの 3 つを選択できます。

初期設定は「オン」です。

- 1 「>SSL サーバ > オン」表示中に、[▷] キーを押します。「>>AES」が表示されます。

- 2 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択します。

- 4 [実行] キーを押します。

- 5 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

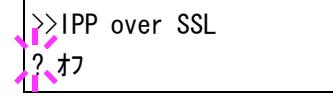
「IPP over SSL」(SSL サーバの IPP over SSL 設定)

IPP over SSL は、ネットワークにおける印刷で、ユーザとサーバ間の通信を SSL を使って暗号化する機能のことです。IPP over SSL を利用するには、サーバとクライアントがともに対応している必要があります。

初期設定は「オフ」です。

- 1 「>SSL サーバ > オン」表示中に、[▷] キーを押します。「>>IPP over SSL」が表示されます。

- 2 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択します。

- 4 [実行] キーを押します。
- 5 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「HTTPS」(SSL サーバの HTTPS 設定)

HTTPS (HyperText Transfer Protocol Secure) は、WWW サーバとクライアントの間でデータ転送を行う HTTP に SSL によるデータの暗号化、メッセージ認証、ディジタル署名の機能を附加したプロトコルのことです。

同様のプロトコルに S-HTTP がありますが、HTTPS は、SSL を利用しているという点が異なります。

初期設定は「オフ」です。

- 1 「>SSL サーバ」 > オン 表示中に、[▷] キーを押します。「>>HTTPS」が表示されます。
- 2 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。
- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択します。
- 4 [実行] キーを押します。
- 5 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

>>HTTPS
?
オフ

「IPSec」(IPSec の設定)

IPSec (IP Security Protocol) は、IETF で標準化された第 3 層のネットワーク層 (IP 層) での認証および暗号化を行うためのセキュリティプロトコルのことです。

IPv4 と IPv6 の双方に適用ができます。

参考：IPv4 では、IP アドレスに 32 ビットが使用され、IPv6 では、128 ビットが使用されます。

初期設定は「オフ」です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

- 1 管理者 ID とパスワード入力後、「>IPSec」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

>IPSec
?
オフ

- 2 [実行] キーを押します。「?」が点滅します。

>IPSec
?
オフ

- 3 [△] または [▽] キーを押して、「オ」または「オフ」を選択します。
- 4 [実行] キーを押します。
- 5 [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「セキュリティ レベル」（セキュリティレベルの設定）

「セキュリティ レベル」（セキュリティレベルの設定）は、主にサービス担当者がメンテナンスするために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

「管理者」(管理者の設定)

本機を使用できるユーザを特定し、使用者を管理することができる管理者の管理者 ID と管理者パスワードを設定します。

セキュリティ機能および部門管理機能を使用するときに、ここで設定した管理者 ID と管理者パスワードで認証が行われ、正しく認証されたときに設定を行うことが可能になります。

管理者の設定には以下の項目があります。

- 「ID」(管理者 ID の入力)
- 「パスワード」(管理者パスワードの入力)
- 「ID の変更」(管理者 ID の変更)
- 「パスワードの変更」(管理者パスワードの変更)

- 1 [メニュー] キーを押します。
- 2 「管理者 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。



「ID」(管理者 ID の入力)

管理者 ID を設定できます。工場出荷時は、印刷速度（数字）となっています。本機「3500」となります。

- 1 「管理者 >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「ID」が表示され、カーソル（_）が点滅します。



- 3 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ~ 16 桁の数字で入力してください。
- 4 [実行] キーを押します。次の手順「パスワード」(管理者パスワードの入力) へ移ります。

「パスワード」(管理者パスワードの入力)

管理者パスワードを設定できます。工場出荷時は、印刷速度（数字）となっています。本機は「3500」となります。

- 1 前の手順「ID」(管理者 ID の入力) で ID を入力すると、「パスワード」(管理者パスワードの入力) が表示され、カーソル（_）が点滅します。



- 2** [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。[◀] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0 ~ 16 桁の数字で入力してください。

参考：ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、「ID が違います」もしくは「パスワードが違います」が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

- 3** 正しい ID とパスワードを入力すると、管理（変更）画面が表示されます。（例：管理者 ID が 00000001 の場合）

[△] または [▽] キーを押すと、以下の変更項目が循環して表示されます。

- 「ID の変更」
- 「パスワードの変更」

>IDの変更
00000001

- 4** 管理者 ID またはパスワードを変更しない場合は、[メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「ID の変更」（管理者 ID の変更）

管理者 ID の変更ができます。

- 1** 「パスワード」の手順 3 で、管理（変更）画面を表示中に、[△] または [▽] キーを押して、「ID の変更」画面を表示させます。（例：管理者 ID が 001 の場合）

>IDの変更
001

- 2** [実行] キーを押すと、カーソル（_）が点滅します。

>IDの変更
001

- 3** [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。変更する ID を入力してください。[◀] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ~ 16 桁の数字で入力してください。

- 4** [実行] キーを押します。確認画面が表示されます。
(例：管理者 ID を 002 に変更した場合)

よろしいですか?
002

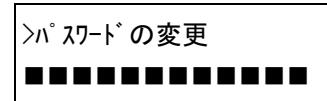
- 5** [実行] キーを押します。変更した管理者 ID が確定します。

- 6** [メニュー] キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「パスワードの変更」（管理者パスワードの変更）

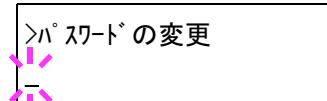
管理者パスワードの変更ができます。

- 1 上記「パスワード」の手順3で、管理（変更）画面を表示中に、**[△]** または **[▽]** キーを押して、「**パスワードの変更**」画面を表示させます。



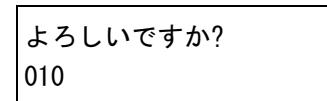
重要：管理者パスワードは表示されません。

- 2 **[実行]** キーを押すと、カーソル（_）が点滅します。



- 3 **[△]** または **[▽]** キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。変更するパスワードを入力してください。**[◀]** または **[▶]** キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 0～16 桁の数字で入力してください。

- 4 **[実行]** キーを押します。確認画面が表示されます。
(例：管理者パスワードを 010 に変更した場合)



- 5 **[実行]** キーを押します。変更した管理者パスワードが確定します。

- 6 **[メニュー]** キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「調整 / メンテナンス」(調整 / メンテナンスの選択・設定)

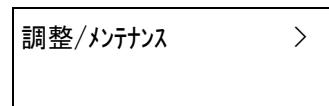
調整 / メンテナンスの選択・設定では、印刷品質に関する調整や本機のメンテナンスを行います。

調整 / メンテナンスの選択・設定には以下の項目があります。

- 「プリンタの再起動」(プリンタの再起動)
- 「サービス」(保守・点検用)

注意 : 「サービス」は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

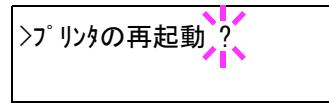
- 1 [メニュー] キーを押します。
- 2 「調整 / メンテナス >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。



「プリンタの再起動」(プリンタの再起動)

RAM ディスクの設定や、インターフェースの設定を行ったときに、プリンタを再起動します。

- 1 「調整 / メンテナス >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「> プリントの再起動」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。「?」が表示されます。



- 4 もう一度、[実行] キーを押します。プリンタの再起動中は「Self test」が表示されます。その後、表示は「しばらく お待ちください」から「プリントできます」に戻ります。

「サービス」(保守・点検用)

保守・点検で使用する「サービス」には以下の項目があります。

- 「ステータスページの印刷」(サービスステータスページの印刷)
- 「ネットワークステータスの印刷」(ネットワーク用ステータスページの印刷)
- 「テストページの印刷」(テストページの印刷)
- 「現像器」(現像ユニットの初期化)

重要 : 「サービス」は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

- 1 「調整 / メンテナス >」表示中に、[▷] キーを押します。

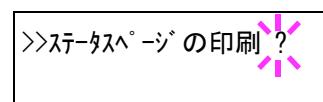
- 2 「>サービス >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。



「ステータスページの印刷」(サービスステータスページの印刷)

サービスステータスページは、通常のステータスページよりも詳細なプリンタ設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

- 1 「>サービス >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>ステータスページ の印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。「?」が表示されます。

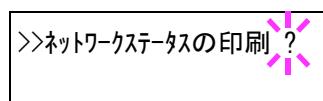


- 4 [実行] キーを押します。「データ処理中です」が表示され、サービスステータスページが印刷されます。
- 5 終了すると、メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「ネットワークステータスの印刷」(ネットワーク用ステータスページの印刷)

ネットワーク用ステータスページは、詳細なネットワーク設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

- 1 「>サービス >」表示中に、[▷] キーを押します。
- 2 「>>ネットワークステータスの印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
- 3 [実行] キーを押します。「?」が表示されます。



- 4 [実行] キーを押します。「データ処理中です」が表示され、ネットワーク用ステータスページが印刷されます。
- 5 終了すると、メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「テストページの印刷」(テストページの印刷)

テストページは、本機の調整結果を確認するために印刷します。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

- 1 「>サービス >」表示中に、[▷] キーを押します。

2 「>> テストページ の印刷」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

3 [実行] キーを押します。「?」が表示されます。

>> テストページ の印刷 ?

4 [実行] キーを押します。「データ処理中です」が表示され、テストページが印刷されます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「現像器」(現像ユニットの初期化)

このメニューを設定すると、新品の現像ユニットに交換してプリンタの電源をオンにしたとき、現像ユニットにトナーが自動的に供給されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

3 オプション

ここでは、プリンタに装着できるさまざまなオプションについて説明します。

- オプションについて ...3-2
- 拡張メモリ ...3-3
- ペーパーフィーダ (PF-100) ...3-6
- CF カード (メモリカード) ...3-7
- その他のオプション ...3-9

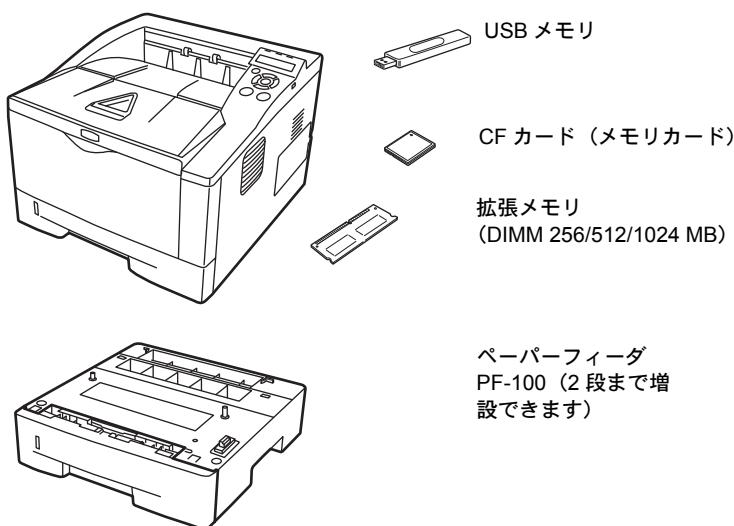
オプションについて

本機は次のオプションが取り付け可能です。お客様の印刷上の用途に適したオプションをお選びください。

オプションの入手方法などについては、京セラミタジャパン株式会社正規特約店または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は裏表紙を参照してください。

参考：プリンタの本体内に装着する拡張メモリなどは、外部に装着するオプション機器よりも先に装着してください。

オプションの取り付け手順について、詳しくは各オプション付属の説明書を参照してください。



拡張メモリ

メモリを増設するとより複雑なデータの印刷が可能になります。

本機にはメモリ増設のために空きスロットが用意されています。メイン基板にあるスロットにオプションの拡張メモリを装着することで、最大 1152 MB までプリンタのメモリを拡張できます。

重要 : 拡張メモリの増設は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお申し付けください。電話番号は裏表紙を参照してください。お客様自身が装着を行って起きた破損、障害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

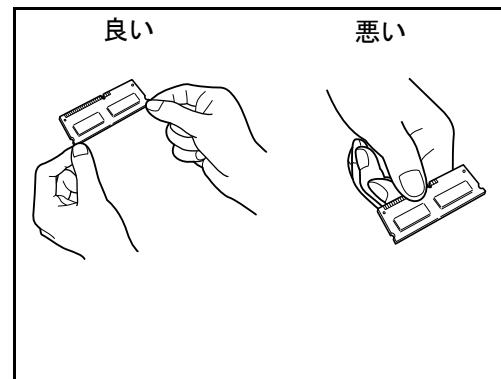
対応拡張メモリ

拡張メモリには、256 MB、512 MB、1024 MB があります。詳しくは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は裏表紙を参照してください。

メイン基板およびメモリ取り扱い上の注意

衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリには大敵です。静電気による破壊からメモリを保護するために、装着前に次の事柄にご注意ください。

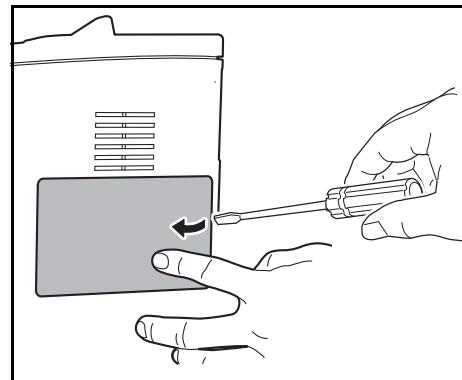
- メモリは、プリンタに装着する直前まで静電気防止袋より取り出さないでください。
- メモリに触れる前に、水道の蛇口や金属製のものに触って人体の静電気を除去してください。できれば、静電気対策用のリストバンドを手首にお付けください。
- メモリを取り扱う際は、図のようにプリント配線部分には触れずに必ず基板の端を持ってください。



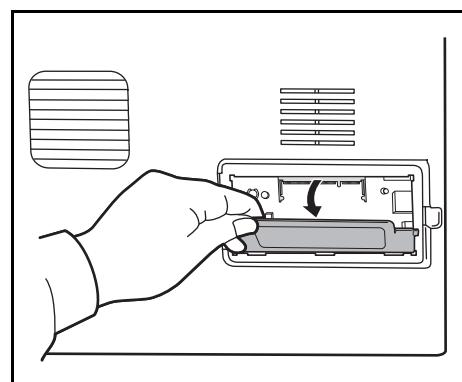
メモリの取り付け

重要：作業をするには十分なスペースを確保してください。

- 1 プリンタの電源を切り、電源コードとプリンタに接続しているケーブルをすべて取り外します。
- 2 右カバーを開けます。



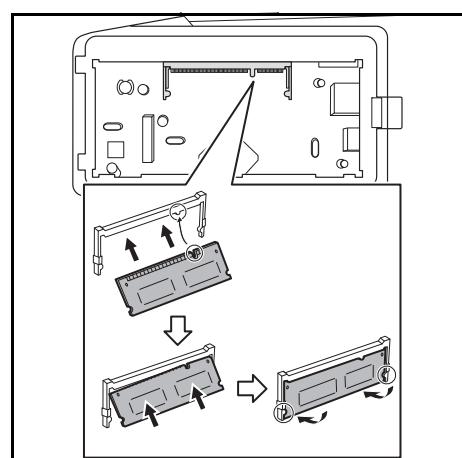
- 3 内部カバーのネジを取り外してカバーを開けます。



- 4 オプションの拡張メモリをパッケージから取り出します。

- 5 メモリの端子部を上側にし、切り欠き部分とソケットの突起部分を合わせて斜めにまっすぐ奥まで差し込みます。そして、拡張メモリをソケット部を支点にし、メイン基板と水平の位置まで倒してフックに固定します。

重要：メモリソケットに対して、逆向きに取り付けないでください。



- 6 手順 3 で取り外した内部カバーを取り付けてから、右カバーを取り付けます。

拡張メモリの取り外し

取り付けた拡張メモリを取り外す場合は、右カバーと内部カバーを開け、ソケット両端にあるストップを外側に開きます。拡張メモリはソケットから外れます。

拡張メモリの確認

拡張メモリを装着してから、正しく装着されたかどうかを、次の方法で確認します。

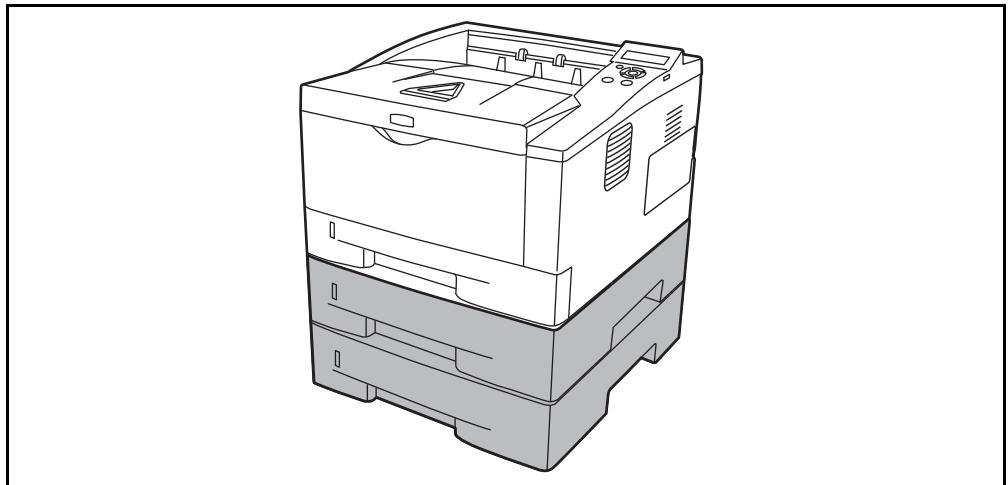
- 1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してから電源コードをプリンタにつなぎ、プリンタの電源をオンにします。
- 2 「プリントできます」が画面に表示されたら、操作パネルの【メニュー】キーを押します。
- 3 [▽] キーを「ステータスページの印刷」が表示されるまで押します。
- 4 [実行] キーを2回押します。

印刷されたステータスページで、メモリの量を確認します。メモリの増設が正しく行われていれば、トータルメモリの数値が増加しています。(工場出荷時、メモリの量は128 MBです。)

ペーパーフィーダ (PF-100)

オプションのペーパーフィーダ PF-100 には約 250 枚の用紙を収納できます。プリンタの下に、2 台重ねて装着できます。ペーパーフィーダ付属の給紙カセットで使用できる用紙は、本体と同様です（A6 サイズは収納できません）。

ペーパーフィーダの取り付け手順については、ペーパーフィーダ付属の使用説明書を参照してください。



CF カード（メモリカード）

本機には、CF カードを装着できるスロットが 1 つあります。

CF カードはオプションフォント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。CF カードからフォントを読み込む操作については、2-54 ページの「メモリカード」（CF カードの操作）を参照してください。

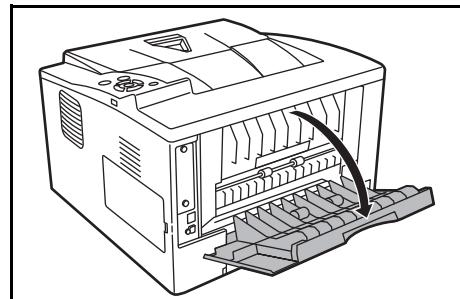
使用できる CF カードについては京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は裏表紙を参照してください。

参考：CF カードの取り付けは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお申し付けください。電話番号は裏表紙をご覧ください。お客様自身が装着を行って起きた破損、障害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

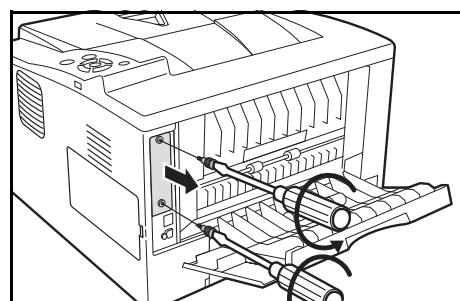
重要：CF カードをプリンタに装着する際は、プリンタの電源を切り、電源コードを抜いてください。

次の手順で、CF カードを装着します。

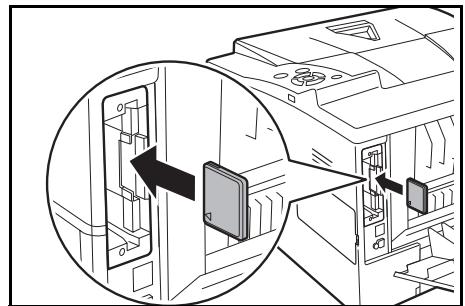
- 1 本機の電源を切り、電源コードと本機に接続しているケーブルをすべて取り外します。
- 2 後カバーを開けます。



- 3 拡張インターフェーススロットカバーのネジを取り外してカバーを開けます。



- 4 スロットに CF カードを装着します。



- 5 手順 3 で取り外したネジを取り付けてから、拡張インターフェーススロットカバーを閉じます。

その他のオプション

USB メモリ

USB メモリは、USB メモリスロットに接続して使用する、持ち運びが簡単なフラッシュ メモリです。USB メモリを本体に装着し、印刷したい PDF ファイル名を操作パネルから指定することで、ファイルを印刷できます。

USB メモリ内に他の拡張子のファイルが格納されていても、PDF、TIFF、および XPS のファイル名だけが操作パネルに表示されます。

USB メモリに格納できるファイル数は、最大 100 件です。ファイル名が半角英数字および半角カタカナで 99 文字まで、全角英数字、カタカナ、漢字およびひらがなで 49 文字までのファイルであれば印刷できます。ただし、メッセージディスプレイには 16 文字までしか表示されないため、半角英数字および半角カタカナで 17 文字以上のファイルと、全角英数字、漢字およびひらがなで 9 文字以上のファイルはメッセージディスプレイで識別できません。

USB メモリ内の PDF ファイルを印刷する操作については、2-15 ページの「**USB メモリ**」(USB メモリの選択) を参照してください。

使用できる USB メモリについては、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は裏表紙を参照してください。

オプション

4 フォント

本機は、欧文アウトラインフォント（PCL、KPDL）93書体、欧文アウトラインフォント（Windows Vista）8書体、欧文ビットマップフォント1書体を搭載しています。

- 内蔵フォント一覧 ...4-2

内蔵フォント一覧

次は、本機の内蔵フォントのリストです。このフォントリストは、操作パネルから印刷できます。手順については、2-13 ページの「**フォントサンプルの印刷**」（**フォントサンプルの印刷**）を参照してください。

フォントはオプションのメモリカードから、プリンタのメモリにダウンロードすることもできます。

PRESCRIBE フォントリスト

Internal Scalable and Bitmapped Fonts List				PRESERVE
Font Name	Scalable/Bitmap	Password	Selection [FSET]	Font ID
Courier	<Scalable>	None	FSET 0p##h0s0b4099T;	I000
CGTimes	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4101T;	I001
CGTimes-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b4101T;	I002
CGTimes-It	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b4101T;	I003
CGTimes-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b4101T;	I004
CGOmega	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4113T;	I005
CGOmega-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b4113T;	I006
CGOmega-It	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b4113T;	I007
CGOmega-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b4113T;	I008
Coronet	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b4116T;	I009
Clarendon-Cd	<Scalable>	None	FSET 1p##v4s3b4140T;	I010
Univers-Md	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4148T;	I011
Univers-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b4148T;	I012
Univers-MdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b4148T;	I013
Univers-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b4148T;	I014
Univers-MdCd	<Scalable>	None	FSET 1p##v4s0b4148T;	I015
Univers-BdCd	<Scalable>	None	FSET 1p##v4s3b4148T;	I016
Univers-MdClt	<Scalable>	None	FSET 1p##v5s0b4148T;	I017
Univers-BdClt	<Scalable>	None	FSET 1p##v5s3b4148T;	I018
AntiqueOlive	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4168T;	I019
AntiqueOlive-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b4168T;	I020
AntiqueOlive-It	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b4168T;	I021
GaramondAntiqua	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4197T;	I022
Garamond-Hlb	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b4197T;	I023
Garamond-Krsv	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b4197T;	I024
Garamond-HlbKrsv	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b4197T;	I025
Marygold	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4297T;	I026
Albertus-Md	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s1b4362T;	I027
Albertus-ExtBd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s4b4362T;	I028
Ryadh	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b4859T;	I029
Ryadh-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b4859T;	I030
Malka	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b16584T;	I031
Malka-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b16584T;	I032
Malka-It	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b16584T;	I033
Dorit	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b16585T;	I034
Dorit-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b16585T;	I035
Naamit	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b16587T;	I036
Naamit-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b16587T;	I037
Arial	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b16602T;	I038
Arial-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b16602T;	I039
Arial-It	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b16602T;	I040

PRESCRIBE フォントリスト

Internal Scalable and Bitmapped Fonts List				PRESCRIBE	
Font Name	Scalable/Bitmap	Password	Selection [FSET]	Font ID	
LetterGothic	<Scalable>	None	FSET Op##h0s0b4102T;	I082	
LetterGothic-Bd	<Scalable>	None	FSET Op##h0s3b4102T;	I083	
LetterGothic-It	<Scalable>	None	FSET Op##h1s0b4102T;	I084	
Naskh	<Scalable>	None	FSET Op##h0s0b4124T;	I085	
Naskh-Bd	<Scalable>	None	FSET Op##h0s3b4124T;	I086	
Koufi	<Scalable>	None	FSET Op##h0s0b4264T;	I087	
Koufi-Bd	<Scalable>	None	FSET Op##h0s3b4264T;	I088	
CourierPS	<Scalable>	None	FSET Op##h0s0b24579T;	I089	
CourierPS-Bd	<Scalable>	None	FSET Op##h0s3b24579T;	I090	
<i>CourierPS-Ob</i>	<Scalable>	None	FSET Op##h1s0b24579T;	I091	
CourierPS-BdOb	<Scalable>	None	FSET Op##h1s3b24579T;	I092	
Calibri	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b17329T;	I093	
Calibri-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b17329T;	I094	
<i>Calibri-It</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b17329T;	I095	
Calibri-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b17329T;	I096	
Cambria	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s0b17328T;	I097	
Cambria-Bd	<Scalable>	None	FSET 1p##v0s3b17328T;	I098	
<i>Cambria-It</i>	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s0b17328T;	I099	
Cambria-BdIt	<Scalable>	None	FSET 1p##v1s3b17328T;	I100	
LinePrinterBM8.5-Roman	<Bitmap>	FONT 88 ;	None	FSET 0p16.67h8.5v0s0b0T;	I101

フォント

付録

- ・ インタフェース ... 付録 -2 ページ
- ・ 環境設定コマンド ... 付録 -5 ページ

インターフェース

プリンタのパラレルインターフェースと USB インタフェースについてピンの割当て、信号、タイミング、コネクタ仕様などを説明します。

USB インタフェース

本機の USB (ユニバーサルシリアルバス) インタフェースは、Hi-Seed USB 2.0 に準拠しています。USB インタフェースの仕様と信号は次のとおりです。

仕様

基本仕様

Hi-Speed USB に準拠しています。

コネクタ

プリンタ：B レセプタクル（メス）アップストリームポート

ケーブル：B プラグ（オス）

ケーブル

5 m 以下の USB 2.0 (Hi-Speed) 適合ケーブル。シールドされているケーブル線を使用してください。

転送モード

ハイスピード（最大 480 Mbps）

フルスピード（最大 12 Mbps）

電源コントロール

自己電源デバイス

インターフェース信号

USB 接続ピン割り当て

ピン	信号	説明
1	Vbus	電源 (+5 V)
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グラウンド
シェル	—	シールド

ネットワークインターフェース

特長

IP アドレスを自動で解決

DHCP/DHCPv6 プロトコルに対応しており、DHCP/DHCPv6 サーバによって自動的に IP アドレスを受け取ることができます。

Web ブラウザによる管理

HTTP ページを内蔵しており、Web ブラウザを使用して、各種設定状態のモニタや変更ができます。各種設定は、パスワードによってセキュリティを確保できます。

各種プロトコルをサポート

代表的な SMTP、POP3、SSL、SNMP、IPv6、NetBIOS over TCP/IP などをサポートし、プリンタの管理やセキュリティ強化に役立ちます。

IEEE802.1x をサポート

EAP-TLS、PEAP 認証方式に対応しています。

IPv6 をサポート

IPv4 をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコル IPv6 に対応しています。

IPSec をサポート

ネットワーク層（IP 層）で、認証および暗号化を行うセキュリティプロトコル IPSec に対応しています。

仕様

コネクタ

10 Base-T/100 Base-TX

動作オペレーティングシステム（Windows 系、Macintosh 系）

Windows 2000/XP/Vista/Server2003, MacOS 10.x

ネットワーク・プロトコル

- IPv6: HTTP、LPD、FTP、IPP、RawPort、ICMPv6、LLTD、SNTP、DHCPv6、SMTP、POP3、DNS、SNMPv1/v2c/v3、WSD
- IPv4: HTTP、HTTPS、LPD、FTP、IPP、RawPort、ICMP、DHCP、SMTP、POP3、SNTP、DNS、WINS、NetBIOS over TCP/IP、SNMPv1/v2c/v3、Apple Bonjour Compatible、IPPS、LLTD、WSD
- その他 : IPX/SPX、NetWare (NDS/Bindery)、AppleTalk、NetBEUI

セキュリティ・プロトコル

SSL/TLS (HTTPS、IPPS)、SNMPv3、EAP-TLS、PEAP、AH、ESP

重要：IPv6 機能を使用するときは、ネットワークを構成する機器 (Router や PC) が IPv6 に対応している必要があります。

環境設定コマンド

本機は、印刷設定に関する各種の情報を内部メモリに記憶しています。これらの情報はプリスクライブ FRPO コマンドによって登録・変更でき、電源投入時のプリンタの初期状態として設定されます。

ここでは、FRPO コマンドとそのパラメータの使用例を説明します。

プリスクライブコマンドの詳細については、付属の CD-ROM に収録されている、プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアルを参照してください。プリスクライブコマンドごとの書式や機能について、実行例を含めて説明しています。

環境設定コマンドの設定

現在の FRPO パラメータの設定値は、ステータスページで確認できます。

参考：FRPO パラメータを変更する前に、サービスステータスページを印刷しておくことをおすすめします。なお、FRPO INIT コマンドですべての FRPO パラメータを、プリンタの初期状態にもどすこともできます。（!R! FRPO INIT; EXIT;）

FRPO コマンドは次の書式で実行します。

!R! FRPO パラメータ , 設定値 ; EXIT;

例—エミュレーションを PC-PR201/65A に設定

!R! FRPO P1, 11; EXIT;

FRPO パラメータ

項目	FRPO	設定値	工場設定
上マージン	A1	インチ単位の整数部分	0
	A2	1/100 インチ単位の小数部分	0
左マージン	A3	インチ単位の整数部分	0
	A4	1/100 インチ単位の小数部分	0
ページの長さ	A5	インチ単位の整数部分	16
	A6	1/100 インチ単位の小数部分	61
ページの幅	A7	インチ単位の整数部分	16
	A8	1/100 インチ単位の小数部分	61
起動時のパターン解像度	B8	0: 300 dpi 1: 600 dpi	0
ページ方向	C1	0: 縦置き（ポートレート） 1: 横置き（ランドスケープ）	0
起動フォント [†]	C2	起動フォント番号の中 2 枠	0
	C3	起動フォント番号の最後 2 枠	0
	C5	起動フォント番号の最初の 2 枠	0
PCL フォントスイッチ	C8	0: HP 互換モード 1: 過去互換モード	0
受信データバッファ容量	H8	0 ~ 99FRPO S5 の値で積算（0: 5 K バイト）	5

付録

項目	FRPO	設定値	工場設定
タイムアウトの時間	H9	0 ~ 99 5秒単位	1
KIR	N0	0: オフ 2: オン	2
両面印刷モードの選択	N4	0: オフ 1: ロングエッジモード (長辺とじ) 2: ショートエッジモード (短辺とじ)	0
スリープ時間	N5	1 ~ 240 分	15
エコプリントモード	N6	0: オフ 2: オン	0
解像度	N8	0: 300dpi 1: 600dpi 3: 1200dpi	1
エミュレーションモード	P1	0: Line printer 1: IBM proprinter 2: DIABLO 630 5: EPSON LQ-850 6: PCL 6 9: KPDL	6
キャリッジリターンの処理†	P2	0: 無視 1: CR 2: CR+LF	1
改行の処理†	P3	0: 無視 1: LF 2: CR+LF	1
KPDL 自動切替え	P4	0: なし 1: 自動切替え	1
KPDL 自動切替え先エミュレーション	P5	P1 と同じ (9 を除く)	6
AES オプション 1- 自動エミュレーション切り換え (AES) が起動するページ排出コマンドおよび処理動作	P7	AES 起動後、KPDL または自動切替先 (代替) エミュレーションのどちらにも該当しないデータは KPDL で処理。 0: すべてのページ排出コマンドで AES 起動。 1: なし 2: すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブ EXIT コマンドで AES 起動。 3: プリスクライブ EXIT コマンドのみで AES 起動。 4: ^L コマンドのみで AES 起動。 6: プリスクライブ EXIT コマンドおよび^L コマンドで AES 起動。 AES 起動後、KPDL または自動切替先 (代替) エミュレーションのどちらにも該当しないデータは、代替エミュレーションで処理。 10: すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブ EXIT コマンドで AES 起動。	10
コマンド認識文字	P9	33 ~ 126 の ASCII コード	82 (R)

項目	FRPO	設定値	工場設定
用紙サイズ	R2	0: 紙力セッタのサイズ (R4 参照) 1: Envelope Monarch 2: Envelope #10 3: Envelope DL 4: Envelope C5 5: Executive 6: Letter 7: Legal 8: ISO A4 9: JIS B5 13: ISO A5 14: ISO A6 15: JIS B6 16: Envelope #9 17: Envelope #6-3/4 18: ISO B5 19: Custom 31: はがき 32: 往復はがき 33: Oficio II 40: 16K 50: Statement 51: Folio 52: 洋形 2 号 (封筒) 53: 洋形 4 号 (封筒)	0
初期給紙元	R4	0: 手差しトレイ 1: カセット 1 2: カセット 2 3: カセット 3	1
手差しトレイの用紙サイズ	R7	0 がない以外は、R2 と同じ	8 (A4)
デイジーホイールデータビット	R8	7: Diablo エミュレーションのハイコード部分をマスクする	7
A4/Letter の共通給紙	S4	0: オフ 1: オン	0
ホストバッファサイズ積算値 (H8 の値と積算)	S5	0: 10 KB 1: 100 KB 2: 1 MB	1
RAM ディスクサイズ	S6	1 ~ 1024 MB 単位	4
RAM ディスクモード	S7	0: オフ 1: オン	0
Tray 1 Paper Size	T1	6: 米国 8: 欧州、日本	8
Tray 2 Paper Size	T2	6: 米国 8: 欧州、日本	8
Tray 3 Paper Size	T3	6: 米国 8: 欧州、日本	8

付録

項目	FRPO	設定値	工場設定
ワイド A4 機能	T6	0: オフ 1: オン	0
行間隔†	U0	インチあたりの行数 / 整数部分	6
行間隔†	U1	インチあたりの行数 / 小数部分	0
文字間隔†	U2	インチあたりの文字数 / 整数部分	10
文字間隔†	U3	インチあたりの文字数 / 小数部分	0
内蔵フォントの国別コード	U6	0: US 1: フランス 2: ドイツ 3: イギリス 4: デンマーク 5: スウェーデン 6: イタリア 7: スペイン 8: 日本 9: US リーガル 10: IBM PC-850 (マルチ言語) 11: IBM PC-860 (ポルトガル語) 12: IBM PC-863 (カナダフランス語) 13: IBM PC-865 (ノルウェー語) 14: ノルウェー語 15: デンマーク語 2 16: スペイン語 2 17: ラテンアメリカ 21: US ASCII (U7=50 に設定) 77: HP Roman-8 (U7=52 に設定)	0
シンボルセット	U7	0: エミュレーションと同じ 1: IBM 6: IBM PC-8 50: US ASCII (U6=21 に設定) 52: HP Roman-8 (U6=77 に設定)	0
デフォルトフォントピッチ	U8	0 ~ 99	10
	U9	0 ~ 99	0
初期 ANK アウトラインフォント・サイズ†	V0	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの整数 上位 2 枠 / 設定有効範囲値 : 00 ~ 09	0
	V1	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの整数 下位 2 枠 / 設定有効範囲値 : 00 ~ 99	12
	V2	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの小数 2 枠 設定有効値 : 00, 25, 50, 75	0
初期 ANK アウトラインフォント名†	V3	起動時の ANK アウトラインフォント名	Courier

項目	FRPO	設定値	工場設定
クーリエおよびレターゴシックのフォン V9 トタイプ選択		0: クーリエ=ダーク レターゴシック=ダーク 1: クーリエ=レギュラー レターゴシック=ダーク 4: クーリエ=ダーク レターゴシック=レギュラー 5: クーリエ=レギュラー レターゴシック=レギュラー	5
用紙種類 (手差しトレイ)	X0	1: 普通紙 2: OHP シート 3: プレ印刷用紙 4: ラベル用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 7: 薄い用紙 9: レターへッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 12: 封筒 13: はがき 16: 厚い用紙 17: 上質紙 21 ~ 28: カスタム 1 ~ カスタム 8	1
用紙種類 (本体カセット 1)	X1	1: 普通紙 3: プレ印刷用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 9: レターへッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 17: 上質紙 21 ~ 28: カスタム 1 ~ カスタム 8	1
用紙種類 (カセット 2、3)	X2 X3	1: 普通紙 3: プレ印刷用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 9: レターへッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 17: 上質紙 21 ~ 28: カスタム 1 ~ カスタム 8	1
給紙カセット選択モード (PCL)	X9	0: 用紙種類の設定によって給紙カセットを切り替え 1: カセットの用紙サイズによって自動的に給紙カセットを切り替え	0

付録

項目	FRPO	設定値	工場設定
エラー時のオートエラークリア ([印刷可 / 解除] キーを押して解除するエラーのみ)	Y0	0: オフ 1: オン	0
オートエラークリアのエラー解除時間	Y1	0 ~ 99 5秒単位	6 (30秒)
EcoFuser 機能の ON/OFF 設定	Y2	0: レディ時のオンデマンド定着器のヒーターOFF 1: レディ時のオンデマンド定着器のヒーターON	0
両面印刷時の用紙エラー検知	Y3	0: 検知しない 1: 検知する	0
強制両面印刷設定 (用紙種類がプレプリント、パンチズミシおよびレターヘッドのみ)	Y4	0: オフ 1: オン	0
PDF ダイレクト動作	Y5	0: 用紙に合わせて拡大縮小 1: PDF 内の紙サイズ指定で用紙選択 2: PDF 内の紙サイズ指定によって、A3、A4、Letter から選択し、用紙に合わせて拡大縮小 3: PDF 内の紙サイズ指定で、A3、A4、Letter から印刷 8: 等倍で印刷 9: PDF 内の紙サイズ指定によって、Ledger、Letter、Legal、A4 から選択 10: PDF 内の紙サイズ指定によって、Ledger、Letter、Legal、A4 から選択し、用紙に合わせて拡大縮小	0
e-MPS エラー制御	Y6	0: エラー制御をしない 1: エラーレポートを出力する 2: エラーを表示する 3: エラーを表示、およびエラーレポートを出力する	3

† エミュレーションによっては無視されます。

用語集

AppleTalk

Macintosh とプリンタでデータを転送するプロトコルです。Macintosh を複数台接続したり、プリンタを共有する際に使われます。

dpi (dots per inch)

解像度を表す単位です。1 インチ (25.4 mm) 当たりのドット数を表します。

KM-NET for Direct Printing

Adobe Acrobat/Adobe Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷できるユーティリティです。付属の CD-ROM に収録されています。

KMnet VIEWER

ネットワーク上のプリンタの状態を確認できるネットワークマネージメントツールです。付属の CD-ROM に収録されています。

PCL

ページ記述言語のひとつです。TrueType フォントをプリンタで扱える機能などがあります。本機は PCL6 エミュレーションモードを搭載しています。

PostScript

印刷物の出力などで一般的なページ記述言語のひとつです。本機で印刷するには、オプションの KPDL3 アップグレードキットを装着する必要があります。

RAM ディスク

プリンタのメモリの一部を利用した仮想ディスクで、プリンタの総メモリの中から、任意のメモリサイズを RAM ディスクとして設定することによって、電子ソート（印刷時間の短縮）などの機能が使えるようになります。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

PC とプリンタでデータを転送するプロトコルです。パソコンを複数台接続したり、プリンタを共有する際に使われます。

USB

プリンタとパソコンを接続するインターフェースです。本機は Hi-Speed モードに対応し、最大 480 Mbps のデータ転送ができます。

アウトラインフォント

フォントの輪郭を数式によって記録しており、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは 0.25 ポイント単位で最大 999.75 ポイントまで設定できます。

エミュレーション

他のプリンタのページ言語を解釈し、実行する機能です。本機は PCL 6、KPDL（オプション）、Line printer、IBM proprinter、DIABLO 630 および EPSON LQ-850 のエミュレーションを備えています。

オートスリープ

プリンタ本体の操作やデータの送受信が一定の時間行われないと起動されます。スリープモード時は電力の消費は最小に抑えられます。

拡張メモリ

本機は 1 つの拡張スロットを装備しており増設できます。使用できる DIMM については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

環境設定コマンド（FRPO コマンド）

本機は印刷設定を内部のメモリに記憶しています。環境設定コマンドで設定すると、電源を入れたときの初期設定にすることができます。

ステータスページ

プリンタに関する様々な情報を確認することができるページです。

プリスクライブ（PRESCRIBE）コマンド

京セラミタプリンタに搭載されている独自のプリンタ制御言語で、プリンタに必要な様々な設定を行うことができます。また、二ーモニックで記述されたわかりやすいコマンドであるため、プログラミングが容易です。

プリンタドライバ

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。付属の CD-ROM に収録されています。

ラスタライズ

文字や画像の印刷データを、プリンタで印刷するためにピットマップデータとして表現することです。

索引

A

A4/ レターサイズの共通給紙 2-32

AppleTalk 用語集 -1

AppleTalk の設定 2-64

B

Bonjour 2-46

C

CF カード 3-7

メモリカード 2-54

CF カードの操作 2-54

D

DHCP 2-44

dpi 用語集 -1

F

FRPO パラメータ 付録 -5

I

IPP 2-65

IPSec の設定 2-68

K

KIR モード 2-37

KM-NET for Direct Printing 用語集 -1

KM-NET VIEWER 用語集 -1

N

NetWare

フレームタイプ 2-64

NetWare の設定 2-63

O

OHP フィルム 1-8

P

PCL 用語集 -1

PostScript 用語集 -1

PRESCRIBE 用語集 -2

R

RAM ディスク 2-53, 用語集 -1

RAM ディスク・ファイルリスト 2-14

S

SSL サーバ 2-65

3DES 設定 2-66

AES 設定 2-67

DES 設定 2-66

HTTPS 設定 2-68

IPP over SSL 設定 2-67

T

TCP/IP 用語集 -1

TCP/IP(IPv4) の設定 2-43

TCP/IP(IPv6) の設定 2-47

TIFF データ印刷方法の設定 2-42

U

USB インタフェース 用語集 -1

USB 接続ピン割り当て 付録 -2

基本仕様 付録 -2

X

XPS データ 印刷範囲の設定 2-41

あ

厚い用紙 1-11

い

印刷環境の設定 2-39

印刷完了音の設定 2-51

印刷濃度の設定 2-27

印刷のキャンセルのしかた 2-4

印刷品質の設定 2-29, 2-37

印刷方向 2-40

印刷枚数 2-39

インジケータ

アテンション 2-3

印刷可 2-3

データ 2-3

インターフェース 付録 -2

インターフェースブロック

USB インタフェース 2-62

USB ホスト 2-62

ステータスページ 2-13

インターフェースブロックの設定 2-62

え

- エコプリントモード 2-38
- エミュレーション 用語集 -2
 - KPDL エラーの印刷 2-33
 - エミュレーションモード 2-32
 - ステータスページ 2-13

お

- オートエラークリア 2-58
 - 復帰時間 2-59
- オートスリープ（スリープモード） 2-60, 用語集 -2
- オートパネルリセット 2-59
- オプション 3-1
 - USB メモリ 3-9
 - ペーパーフィーダ 3-6
 - メモリ 3-3
 - CF カード 3-7
- オプション構成 3-2
- ステータスページ 2-13

か

- 改行動作の設定 2-40
- 解像度の設定 2-38
- カウンタ
 - ステータスページ 2-13
- 拡張メモリ 用語集 -2
- 環境設定コマンド 付録 -5, 用語集 -2
- 管理者
 - ID の入力 2-70
 - パスワードの入力 2-70
- 管理者 ID の変更 2-71
- 管理者の設定 2-70
- 管理者パスワードの変更 2-71

き

- キー
 - [印刷可 / 解除] 2-4
 - [キャンセル] 2-4
 - [実行] 2-5
 - 使い方 2-4
 - [メニュー] 2-4
 - 矢印キー 2-5

給紙カセット

- 自動力セット切り換え 2-30
- 用紙の種類 1-12
- 用紙サイズ 2-22
- 用紙種類 2-24
- 給紙元固定時の用紙サイズ・種類
- エラー検知 2-56

給紙元の選択 2-29

け

- 警告音の設定 2-52

さ

- 再生紙 1-11

し

- 時間の設定 2-56
- 自動改ページ待ち時間（タイムアウト） 2-57
- 準備完了音の設定 2-52

す

- ステータスページ 用語集 -2
 - 印刷 2-11
 - 内容 2-12
- スリープ（待機時間） 2-57

せ

- セキュリティ 2-61
 - 管理者 ID の入力 2-61
 - パスワードの入力 2-61
- セキュリティレベル 2-69

そ

- 操作確認音の設定 2-51

ち

- 調整 / メンテナンス 2-73

て

- 手差しトレイ
 - 用紙の種類 1-12
 - 用紙サイズ 2-20
 - 用紙種類 2-21
- 手差しトレイに用紙が無い場合の表示設定 2-56
- デバイス全般の選択・設定 2-50

と

- トナー残量
- ステータスページ 2-13

な

- 内蔵フォント 4-2

ね

- ネットワーク
- ステータスページ 2-13

- ネットワークの設定 2-43
- は**
- はがき 1-10
パネルリセット時間 2-60
- ひ**
- 表示言語 2-50
- ふ**
- 封筒 1-10
フォント 4-1
ANK フォント 2-34
Courier/Letter Gothic の文字ピッチ 2-35
Courier/Letter Gothic フォントの太さ 2-35
漢字フォントサイズ 2-36
初期フォントの設定 2-34
フォントサンプル 2-13
ブザー 2-51
復帰動作の設定 2-41
部門管理 2-70
プリスクライブコマンド 用語集 -2
プリンタドライバ 用語集 -2
プレ印刷用紙 1-11
- め**
- メッセージディスプレイ 2-2
ステータス情報 2-2
表示言語 2-50
メニュー・マップ 2-9
メモリ
　拡張 3-3
　確認 3-5
　ステータスページ 2-13
　取り付け 3-4
　取り外し 3-5
メモリカード 3-7
メモリカード・ファイルリスト 2-14
- も**
- モード選択メニュー 2-6
- よ**
- 用語集 用語集 -1
用紙
　OHP フィルム 1-8
　厚い用紙 1-11
　ガイドライン 1-4
　カスタム設定のリセット 2-28
- カラー紙 1-11
基本仕様 1-2
再生紙 1-11
最大サイズと最小サイズ 1-3
使用できる用紙 1-2
その他の仕様 1-6
適正な用紙 1-4
特殊な用紙 1-8
はがき 1-10
封筒 1-10
プレ印刷紙 1-11
用紙サイズ 1-4
用紙種類 2-19
用紙種類のカスタム設定 2-25
用紙の特性 1-5
ラベル用紙 1-9
用紙設定
　ステータスページ 2-13
- ら**
- ラスタライズ 用語集 -2
ラベル用紙 1-9
　構造と適性 1-10
- り**
- 両面印刷 2-30
エラー検知 2-55
製本モード 2-31
- わ**
- ワイド A4 2-41

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品
質管理および最終検査
に合格しました。



お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15

<http://www.kyoceramita.co.jp>

お客様
相談窓口



0570-046562

受付時間
• 9:00~17:00
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。